

第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事

図 面 リ ス ト					
共 通		西 舎		屋 内 運 動 場	
AA - 01	改修特記仕様書 (1)	AN - 01	【西舎】平面図	A0 - 01	【屋内運動場】平面図、屋根伏図、天井伏図
AA - 02	改修特記仕様書 (2)	AN - 02	【西舎】天井伏図、R階屋上平面図、各部断面図	A0 - 02	【屋内運動場】東面立面図、西面立面図
AA - 03	改修特記仕様書 (3)	AN - 03	【西舎】立面図	A0 - 03	【屋内運動場】北面立面図、南面立面図
AA - 04	改修特記仕様書 (4)	AN - 04	【西舎】矩計図	A0 - 04	【屋内運動場】矩計図
AA - 05	改修特記仕様書 (5)	AN - 05	【西舎】外壁補強部分詳細図	A0 - 05	【屋内運動場】建具案内図
AA - 06	付近見取図、配置図兼仮設計画図	AN - 06	【西舎】建具案内図《参考図》	A0 - 06	【屋内運動場】建具表 (1) 《参考図》
		AN - 07	【西舎】建具表 (1) 《参考図》	A0 - 07	【屋内運動場】建具表 (2) 《参考図》
		AN - 08	【西舎】建具表 (2) 《参考図》		
		AN - 09	【西舎】耐震ブレース廻り詳細図《参考図》		
		AN - 10	【西舎】外部手摺詳細図《参考図》		

2026.04	
第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事 特記仕様書	
I 工事概要	
1. 工事場所	高知市上町2丁目1番11号
2. 工事種目	【西舎】 鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ面積1,192.28㎡ 1) 外壁補強 一式 2) 外壁改修 一式 3) 防水改修 一式 【屋内運動場】 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 平家建て 延べ面積444.00㎡ 1) 外壁改修 一式
3. 関連工事等	・電気設備工事 ○機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事
4. 概成工期	・完成期限の()日(令和 年 月 日)
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)	令和 年 月 日から、全ての室内部分を使用する。
II 建築工事仕様	
1. 特記仕様	
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。	
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。	
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。	
3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
特記事項に記載の[]内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
特記事項に記載の< >内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
2. 適用基準等	
図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。	
・公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版)	
※公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版)	
※建築工事標準詳細図 (令和4年版)	
・敷地調査共通仕様書 (令和4年版)	
・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)	
3. 「週休2日制工事」の実施について	
※対象 ○選択Ⅰ型 ・選択Ⅱ型 ()	
本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休2日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制工事」実施要領(営繕工事編)による。	
・対象外(理由:)	
4. 「猛暑による作業不能日数」の実施について	
※対象 ・見込んでいない(理由: ※過去のWBGT値に基づき算定した日数が0日のため)	
○見込んでいる(作業不能日数: ※現場説明書による)	
・対象外(理由:)	

項目	特記事項
一般共通事項	
① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注, 変更, 完成時)	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズ」テクリス登録等に関する規約)による。 [1.1.4]
2 総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。
3 総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。 [1.2.3]
④ 工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 [1.2.4] また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。
⑤ 工事写真	工事写真はL版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) [1.2.4] 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建技14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による。
⑥ 下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。
7 電気保安技術者	適用する。 [1.3.3]
⑧ 施工条件	施工日及び施工時間 ○1.3.5(1)(7)による。 [1.3.5] ◎図示 ・ 施工順序 ・ 図示 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 ◎図示 その他の施工条件 ◎資機材の搬出入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ◎登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。
⑨ 交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等 ・ 令和 年 月 日から令和 年 月 日までは 名常駐する。 ・ 作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ◎監督職員と協議し、適宜配置する。

項目	特記事項
⑩ 工事安全計画書	配置人員の資格 ・1名以上/1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。 ※交通誘導に關し、1名以上/1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。 資格要件 1, 2級交通誘導警備検定合格者(交通誘導警備員A) 交通誘導警備に關して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認めたもの 交通誘導に關し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B) 警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に關する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。 労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。
⑪ 統括安全衛生管理義務者の指名	労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。
⑫ 発生材の処理	産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、 [1.3.12] 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場での処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたくうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投込処分又は再生)を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。 ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、監督職員が認める場合には、工期内に中間処理業者への搬入を終了すればよいものとする。この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・ 引渡しを要するもの () ・ 現場再利用を図るもの () ◎再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート)
⑬ 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出(請負金額100万円以上)	特別管理産業廃棄物の施工計画調査 ※行う ・行わない 分析調査 ※施工計画書の結果により、監督職員と協議する。 ・行う() ・行わない ・PCBを含む機器類 ・変圧器 ・コンデンサ ・蛍光灯、HID灯具の安定器 ・その他() ・PCB含有シーリング材 ・廃油 ・廃酸 廃アルカリ ・臭化リチウム水溶液 ・電池の溶解液 ・ダイオキシン類
⑭ 工事の保険	工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。 ※ 金銭的保証方式 ・有 ○無
⑮ 契約保証	
⑯ 証明書の提出(グリーン購入法)	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2]
⑰ 石綿含有建材の調査	事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる [1.5.1] 事前調査範囲 ※ 改修範囲 貸与資料 ※ 有 (◎既存の設計図書) ◎石綿含有建材分析調査報告書 (分析結果) 【西舎】 含有無し・複層塗材E、外装薄塗材E 【屋内運動場】 含有無し・複層塗材E、外装薄塗材E、7mm以上含有有り：押出成形セメント板 ・無 分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う (調査建材使用部位 調査建材名 検体数) 分析方法 ※ 定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。

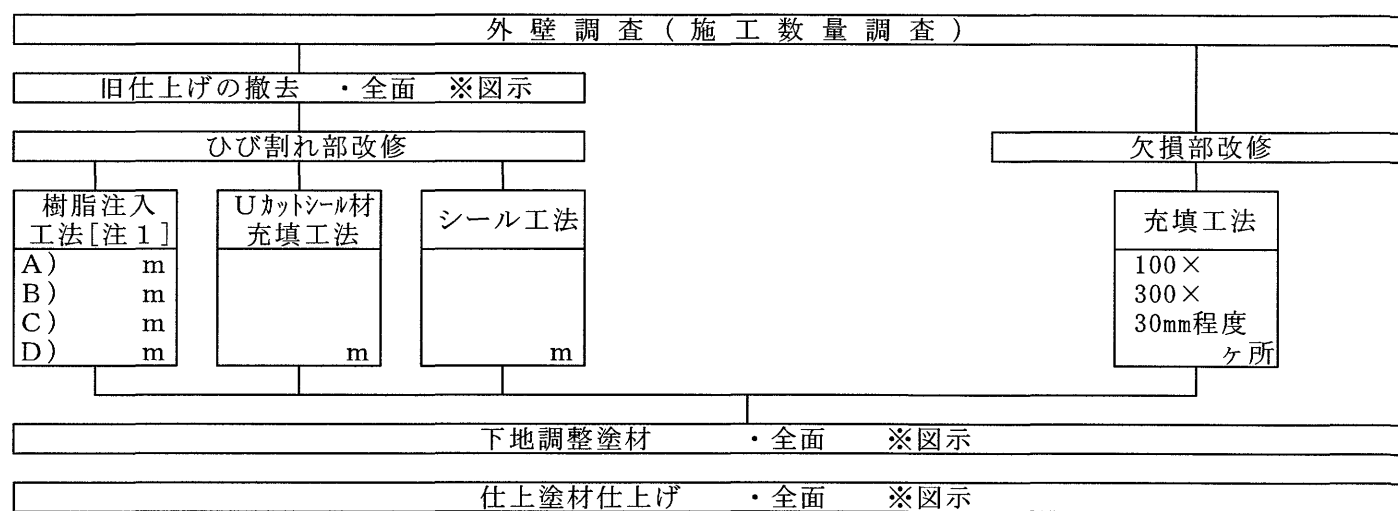
項目	特記事項
⑰ 施工数量調査	調査範囲 ※ 図示 ◎「劣化改修」と図示のある箇所 [1.6.2] 調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診 破壊部分の補修方法 ※ 現状に復旧 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じ写真等を添付する)
⑳ 技能士及び技能資格者	※ 適用する (○ : 一級, ● : 二級) [1.7.2][1.7.3] 工事種別 技能検定の作業の種別 ○ 仮設工事 ※ ● とび作業(又は足場組立作業主任者) ・ 鉄筋工事 ※ ○ 鉄筋組立作業 ・ コンクリート工事 ・ ○ コンクリート圧送工事作業 ・ ○ 型枠工事作業 ・ 鉄骨工事 ※ ● とび作業 ・ ブロック・ALCパネル工事 ・ ○ コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)エーエールシーパネル工事作業 ○ 防水工事 ・ ○ アスファルト防水工事作業 ・ ○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○ 合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○ 塩化ビニルシート防水工事作業 ・ ○ セメント系防水工事作業 ○ ○ シーリング防水工事作業 ・ ○ 改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○ FRP防水工事作業 ・ 石工事 ※ ○ 石張り作業 ・ タイル工事 ※ ○ タイル張り作業 ・ 木工事 ※ ○ 大工工事作業 ・ 屋根及びとい工事 ・ ○ かわらぶき ・ ● スレート工事作業 ・ ○ 内外装板金作業 ・ 金属工事 ・ ○ 鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業 ・ 左官工事 ※ ○ 左官作業 ・ 建具工事 ・ ○ ビル用サッシ施工作業 ・ 木製建具製作 ・ ○ ガラス工事作業 ・ カーテンウォール工事 ※ ○ 金属製カーテンウォール工事作業 ○ 塗装工事 ※ ○ 建築塗装作業 ・ 内装工事 ・ ○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○ 壁装作業 ・ ○ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ○ 畳製作作業 ・ ○ ボード仕上げ工事作業 ・ 植栽工事 ※ ○ 造園工事作業 ○ その他 ○ 樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ 家具手加工作業
21 化学物質の室内濃度の測定	適用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類(運転免許証等)の写しを提出する。 化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、 [1.7.9] 報告書を監督職員に提出する。 ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける連報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。 測定方法 ※ 厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。 測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン ※ スチレン ※ パラジクロロベンゼン 測定箇所 ()箇所 施工前・施工後(計 回測定) 測定対象室 () なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。 本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。 また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。 ⑳ 直接仮設の養生 内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。 ㉑ 建築材料等 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。 ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 県内産資材の優先使用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。 注1: 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。 ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2: 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。 ㉒ 特別な材料の工法 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。 ㉓ 風圧力 本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したのとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo): ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分: ※ III ・ II ㉔ 仕上面の出隅処理 内外部とも仕上出隅利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難しい場合は、監督職員と協議する。

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名		第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名		改修特記仕様書(1)		縮尺		作図		AA-01
						2026年		4月		

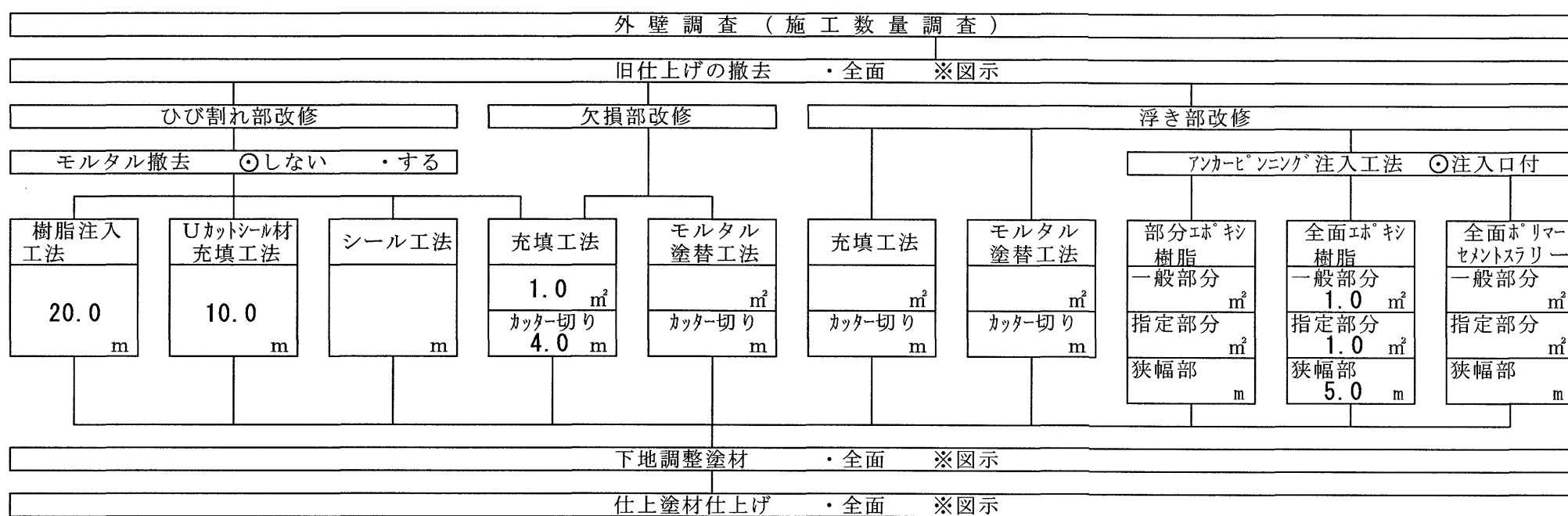
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	<p>既調合モルタルモルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>保水率 (%)</th> <th>単位容積質量 (kg/L)</th> <th colspan="2">接着強度</th> <th>長さ変化率 (%)</th> <th>曲げ強さ (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>70.0以上</td> <td>1.8以上</td> <td>標準養生</td> <td>温冷繰返し後</td> <td>0.2以下</td> <td>4.0以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0.6N/mm²以上</td> <td>0.4N/mm²以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>[4.3.10]</p>	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強度		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)	70.0以上	1.8以上	標準養生	温冷繰返し後	0.2以下	4.0以上			0.6N/mm ² 以上	0.4N/mm ² 以上			<p>2 ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5][4.4.2][4.4.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	<p>3 欠損部改修工法</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.4.5][4.4.7] 張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形成シリコン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.2][4.4.5][4.4.8] 張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない</p> <p>セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り タイルの種類 () 目地詰め ・行う () ・行わない ()</p> <p>・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法 [4.4.8]</p>	<p>③ 仕上塗材仕上げ</p> <p>薄付け仕上塗材 [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材E</td> <td>○砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・着色骨材砂壁状</td> <td>吹付け ローラー ローラー 吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・平たん状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・砂壁状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>吹付け ローラー</td> <td>セメント系以外の上塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・吹放し ・平たん状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td>上塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・吹放し ・ひき起こし</td> <td>吹付け ローラー</td> <td>上塗材 ・適用する</td> </tr> </table> <p>複層仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td>耐候性 ※耐候形3種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材Si</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td>上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7割以上あり</td> </tr> <tr> <td>○複層塗材E</td> <td>・凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材RE</td> <td>・凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材E</td> <td>・凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>・凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>防火材料の指定 ※なし ・あり(※図示) [4.5.2]</p>	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー		・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー		○外装薄塗材E	○砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・着色骨材砂壁状	吹付け ローラー ローラー 吹付け ローラー		・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状	吹付け ローラー		・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・砂壁状	吹付け ローラー	増塗材 ・適用する	・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け		呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け ローラー	セメント系以外の上塗材	・外装厚塗材Si	・吹放し ・平たん状	吹付け ローラー	上塗材 ・適用する	・外装厚塗材E	・吹放し ・ひき起こし	吹付け ローラー	上塗材 ・適用する	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種	・複層塗材Si	・ゆず肌状	ローラー	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7割以上あり	○複層塗材E	・凸部処理	吹付け		・複層塗材RE	・凸部処理	吹付け		・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー		・可とう形複層塗材E	・凸部処理	吹付け		・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する	・防水形複層塗材E	・凸部処理	吹付け		<p>外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ</p> <p>1 ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>・Uカットシール材充填工法 [4.2.6] ・シーリング材 充填材料 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7] ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>※充填工法 [4.2.8] ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ○シーリング材 充填材料 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>② 欠損部改修工法</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p> <p>③ 浮き部改修工法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数</th> <th colspan="2">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分 本/m²</th> <th>狭幅部 本/m</th> <th>一般部分 箇所/m²</th> <th>狭幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※50mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 [4.3.5] 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.4.7] 張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形成シリコン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.8] 張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない ・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り ・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16] ・伸縮調整目地改修工法 [4.4.16] 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数		注入口の箇所数		備考	一般部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	注入量 ※25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※25mL	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL	<p>塗装改修工事</p> <p>① 一般事項</p> <p>屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする [7.1.3] 防火材料 ・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 [7.1.3] ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)</p> <p>② 下地調整</p> <p>塗替えR B種の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す [7.2.1] [7.2.2~7.2.7][表7.2.1~表7.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th>ひび割れの補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗り</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td></td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル面、プラスター面</td> <td></td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面</td> <td></td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面・その他ボード面</td> <td></td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>③ 素地ごしらえ</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th colspan="2">種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗り</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP以外)</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP)</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>○A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプラスター面</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート・ALCパネル面(DP以外)</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート(DP)</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面(継目処理工法)</td> <td></td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> </table> <p>④ 錆止め塗料の種別</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 新規見え掛り部分</td> <td>※A種</td> <td>※C種 ※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え 新規見え隠れ部分</td> <td>1回目 C種 2、3回目 D種</td> <td>※A種 ※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内(E P-G)</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 新規見え掛り部分</td> <td>※B種</td> <td>・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え 新規見え隠れ部分</td> <td>1回目 C種 2、3回目 D種</td> <td>※A種 ※B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 鋼製建具以外</td> <td>※A種 ※B種</td> <td>※A種 ・B種 ※A種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え 鋼製建具以外</td> <td>※B種</td> <td>[表7.4.6] [表7.4.6]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内(E P-G)</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 鋼製建具以外</td> <td>※A種 ※B種</td> <td>※A種 ・B種 ※A種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え 鋼製建具以外</td> <td>※B種</td> <td>[表7.4.6] [表7.4.6]</td> </tr> </table>	下地面の種類		下地調整の種類		ひび割れの補修	木部	不透明塗料塗り	※R B種	・			透明塗料塗り	※R B種	・		鉄鋼面		※R B種	・		亜鉛めっき鋼面		※R B種	・		モルタル面、プラスター面		※R B種	・	・行う ・行わない	コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面		※R B種	・	・行う ・行わない	コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面		・	・	・行う ・行わない	せつこうボード面・その他ボード面		※R B種	・		下地面等		種別		木部	不透明塗料塗り	※A種	・B種		透明塗料塗り	・A種	※B種	鉄鋼面(DP以外)		・A種	・B種	鉄鋼面(DP)		・A種	※B種	亜鉛めっき鋼面		○A種	・B種	モルタル面及びプラスター面		・A種	※B種	コンクリート・ALCパネル面(DP以外)		・A種	※B種	コンクリート(DP)		・A種	・B種	押出成形セメント板面		・A種	・B種	せつこうボード面(継目処理工法)		※A種	・B種	せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面		・A種	※B種	塗装面		塗料		工程	鉄鋼面	SOP	塗替え 新規見え掛り部分	※A種	※C種 ※A種 ・B種	DP	塗替え 新規見え隠れ部分	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種 ※A種	屋内(E P-G)	SOP	塗替え 新規見え掛り部分	※B種	・B種 ・C種	DP	塗替え 新規見え隠れ部分	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種 ※B種 ※C種	亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え 鋼製建具以外	※A種 ※B種	※A種 ・B種 ※A種 ・A種	DP	塗替え 鋼製建具以外	※B種	[表7.4.6] [表7.4.6]	屋内(E P-G)	SOP	塗替え 鋼製建具以外	※A種 ※B種	※A種 ・B種 ※A種 ・A種	DP	塗替え 鋼製建具以外	※B種	[表7.4.6] [表7.4.6]
保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強度		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
70.0以上	1.8以上	標準養生	温冷繰返し後	0.2以下	4.0以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		0.6N/mm ² 以上	0.4N/mm ² 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○外装薄塗材E	○砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・着色骨材砂壁状	吹付け ローラー ローラー 吹付け ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状	吹付け ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・砂壁状	吹付け ローラー	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け ローラー	セメント系以外の上塗材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・外装厚塗材Si	・吹放し ・平たん状	吹付け ローラー	上塗材 ・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・外装厚塗材E	・吹放し ・ひき起こし	吹付け ローラー	上塗材 ・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・複層塗材Si	・ゆず肌状	ローラー	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7割以上あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○複層塗材E	・凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・複層塗材RE	・凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう形複層塗材E	・凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・防水形複層塗材E	・凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数		注入口の箇所数		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	一般部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	注入量 ※25mL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※25mL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※50mL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※25mL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※25mL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
下地面の種類		下地調整の種類		ひび割れの補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
木部	不透明塗料塗り	※R B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	透明塗料塗り	※R B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
鉄鋼面		※R B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
亜鉛めっき鋼面		※R B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
モルタル面、プラスター面		※R B種	・	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面		※R B種	・	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面		・	・	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
せつこうボード面・その他ボード面		※R B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
下地面等		種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
木部	不透明塗料塗り	※A種	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	透明塗料塗り	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
鉄鋼面(DP以外)		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
鉄鋼面(DP)		・A種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
亜鉛めっき鋼面		○A種	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
モルタル面及びプラスター面		・A種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート・ALCパネル面(DP以外)		・A種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート(DP)		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
押出成形セメント板面		・A種	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
せつこうボード面(継目処理工法)		※A種	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面		・A種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
塗装面		塗料		工程																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄鋼面	SOP	塗替え 新規見え掛り部分	※A種	※C種 ※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	DP	塗替え 新規見え隠れ部分	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種 ※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
屋内(E P-G)	SOP	塗替え 新規見え掛り部分	※B種	・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	DP	塗替え 新規見え隠れ部分	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種 ※B種 ※C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え 鋼製建具以外	※A種 ※B種	※A種 ・B種 ※A種 ・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	DP	塗替え 鋼製建具以外	※B種	[表7.4.6] [表7.4.6]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
屋内(E P-G)	SOP	塗替え 鋼製建具以外	※A種 ※B種	※A種 ・B種 ※A種 ・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	DP	塗替え 鋼製建具以外	※B種	[表7.4.6] [表7.4.6]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
外壁改修工事 タイル張り仕上げ	<p>1 タイル材料</p> <p>タイルの形状、寸法等 [4.4.5]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="2">吸水率の区分</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">役物の適用</th> <th rowspan="2">品質(公表単価(円/m²))</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施釉</th> <th>無釉</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.4.8] タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.4.8]</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分		色		耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m ²))	I類	II類	III類	施釉	無釉											<p>5 目地改修工法</p> <p>外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>① 既存塗膜等の除去及び下地処理</p> <p>既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 [4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> </tr> <tr> <td>※水洗い工法</td> <td>※既存仕上面全体</td> </tr> </table> <p>石綿含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。</p> <p>材料 ※下地調整塗材 ○C-1(下記以外の下地調整部) [4.5.2~4.5.4] ○合成樹脂エマルションシーラー(ALC板) ○反応形成樹脂シーラー(押出成形セメント板)</p> <p>工法 ※製造所の仕様による [4.5.4]</p>	工法	処理範囲	・サンダー工法	※既存仕上面全体	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	※水洗い工法	※既存仕上面全体	<p>工事名</p> <p>第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事</p> <p>係 係長 課長補佐 課長 図面番号</p> <p>AA-03</p> <p>改修特記仕様書(3) 縮尺 作図 2026年 4月 日</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	形状寸法(mm)			吸水率の区分		色						耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m ²))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		I類	II類	III類	施釉	無釉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
工法	処理範囲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・サンダー工法	※既存仕上面全体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※水洗い工法	※既存仕上面全体																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																															
⑤ 塗装の種類	<p>[7.3.2、7.5.2~7.13.2][表7.5.1~表7.13.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>略号</th> <th>塗装</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">SOP</td> <td rowspan="4">合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種</td> <td>木部(屋外)</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部(屋内)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具(亜鉛めっき鋼面)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>CL</td> <td>クリヤラッカー塗り</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>NAD</td> <td>アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP</td> <td rowspan="2">耐水性塗料塗り 上塗り塗料等級 ・1級・2級 ③3級</td> <td>鉄鋼面</td> <td>表7.8.1</td> <td>表7.8.1</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>表7.8.2</td> <td>表7.8.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">EP-G</td> <td rowspan="8">つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>アスター面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td>屋内亜鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">EP</td> <td rowspan="5">合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>アスター面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>UC</td> <td>ウレタン樹脂ワニス塗り</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステン</td> <td>ビグメントステイン塗り</td> <td>表7.12.1</td> <td>表7.12.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>OS</td> <td>オイルステイン塗り(OS)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>WP</td> <td>木材保護塗料塗り</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>CL</td> <td>A種の場合の塗料の種類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>UC</td> <td>着色・適用する</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>OS</td> <td>仕様・図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	略号	塗装	塗装面	塗替え	新規	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種	木部(屋外)	※B種	※A種	木部(屋内)	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種	鋼製建具(亜鉛めっき鋼面)	※A種	※B種			CL	クリヤラッカー塗り	※B種	※A種	※B種・A種	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	※B種	※A種	※B種・A種	DP	耐水性塗料塗り 上塗り塗料等級 ・1級・2級 ③3級	鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1	亜鉛めっき鋼面	表7.8.2	表7.8.2	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種	モルタル面	※B種	※B種・A種	アスター面	※B種	※B種・A種	せつこうボード面	※B種	※B種・A種	その他ボード面	※B種	※B種・A種	屋内木部	※B種	※A種	屋内鉄鋼面	※B種	※A種・B種	屋内亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種・B種	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種	モルタル面	※B種	※B種・A種	アスター面	※B種	※B種・A種	せつこうボード面	※B種	※B種・A種	その他ボード面	※B種	※B種・A種	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	※B種	※B種・A種		ステン	ビグメントステイン塗り	表7.12.1	表7.12.1		OS	オイルステイン塗り(OS)				WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種		CL	A種の場合の塗料の種類				UC	着色・適用する				OS	仕様・図示				<p>4 高力ボルト</p> <p>高力ボルトの種類 ※トルシア形高力ボルト(S10T) (7.2.2) ・ JIS 形高力ボルト(F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト(F8T相当) ・ 建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト</p> <p>ねじの呼び ※図示 すべり試験 ※実施しない ・実施する 試験の方法等 ※図示 (7.4.2) ナット回転法の場合でJIS形高力ボルトのボルト長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量(7.4.7) ※図示</p> <p>⑤ 普通ボルト</p> <p>ボルト及びナットの材料等 ※図示 ・表7.2.3による (7.2.3)(表7.2.3) ねじの呼び ※図示</p> <p>6 アンカーボルト</p> <p>・ 構造用アンカーボルトの種類 ・ ABR400 ・ ABR490 ・ ABM400 ・ ABM490 ・ 規格外 () (7.2.4) ・ 建方用アンカーボルトの種類 ・ SS400</p> <p>ねじの規格等 ※表7.2.3による</p> <p>7 ターンバックル</p> <p>建築用ターンバックルボルトの種類 ※羽子板ボルト ・ 両ねじ式 ・ アイボルト (7.2.6) 建築用ターンバックル胴の種類 ※割柱式 ・ パイプ式 種類、ねじの呼び等 ※図示</p> <p>8 床構造用のデッキプレート</p> <table border="1"> <tr> <th>構法</th> <th>適用箇所</th> <th>材質、形状、寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ デッキプレート単独の構法</td> <td></td> <td></td> <td>JIS G 3352</td> </tr> <tr> <td>・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法</td> <td></td> <td></td> <td>JIS G 3352</td> </tr> </table> <p>耐火認定 ・ 有り(耐火時間: ※図示)</p> <p>9 スタッド</p> <p>種類等 ※図示 (7.2.8)</p> <p>10 材料試験等</p> <p>板厚方向に引張力を受ける鋼板のJIS G 0901による試験 ・実施する ・実施しない (7.2.10)</p> <p>11 工作一般</p> <p>高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 (7.3.2) 仮組の実施 ・実施する(部位:) ※実施しない (7.3.10)</p> <p>12 溶接接合</p> <p>技能資格者への技量付加試験 ・行う ※行わない (7.6.3) 代替エンドタブを使用する場合は、技量付加試験を行うか、AW検定協議会が実施する代替エンドタブ検定により認定された溶接作業を行う技能資格者でなければならない</p> <p>開先の形状 ※図示 (7.6.4) スクラップの形状 ※図示 (7.6.7) エンドタブ ※切断する ・切断しない 切断する箇所 ※見えがかり部 ・図示 切断範囲 ※図示</p> <p>⑬ 溶接部の試験</p> <p>外観試験 (7.6.12) ・ 「鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1464号) 第二号に関する試験 試験方法等 ※図示 ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル(鉄骨製作管理技術者登録機構)」3.5.2受入検査による ・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査②</p> <p>⑭ JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表 3「溶接」に関する試験 試験方法等 ※図示 ⑯ JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。 ただし完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。</p> <p>完全溶込み溶接部 ・ 超音波探傷試験 工場溶接の場合 AOQL ※4.0% ・ 2.5%</p> <table border="1"> <tr> <th>箇所</th> <th>検査水準</th> <th>※第6水準</th> </tr> <tr> <td>代替エンドタブを使用する場合は、全数検査とする</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 放射線透過試験 試験箇所 () ・ マクロ試験(エンドタブ使用) 試験箇所 ()</p> <p>14 デッキプレートの溶接</p> <p>※図示 (7.7.8)</p> <p>15 錆止め塗装の範囲</p> <p>※7.8.2(1)による ・図示 (7.8.2)</p> <p>16 錆止め塗料の種類</p> <p>・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) (7.8.4) ※表18.3.1のA種 ・ 耐火被覆材の接着する面 適用箇所 ※図示 塗装の種類 ・表18.3.1のA種</p> <p>17 耐火被覆</p> <p>種類 (7.9.2) ・ 耐火材吹付け工法 (7.9.4) ・ ロックウール吹付け工法(・乾式工法 ・半乾式工法 ・湿式工法) ・ 耐火板張り工法(・繊維混入けい酸カルシウム板) ・ 耐火材巻付け工法(・高断熱ロックウール) ・ ラス張りモルタル塗り 左官工法 (7.9.7) ・ 耐火塗料 塗装工法 (7.9.8) ・ 図示</p> <p>18 アンカーボルトの保持及び埋込み工法</p> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)(表7.10.1) 種類 ・ A種 ※ B種 (7.10.3)(7.2.4) 構造用アンカーボルト ※図示 ・ 形状 ()、寸法 () アンカーフレーム ※図示 ・ 形状 ()、寸法 () 柱底均しモルタルの厚さ及び種別※50mm ・ ※ A種 ・ B種 (7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2) 無収縮モルタルの製造所 評価名簿による 無収縮モルタルの調合等 ※7.2.9(2)による (7.2.9)</p> <p>19 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合</p> <p>摩擦面の処理方法等 ※プラスト処理又はりん酸塩処理 (7.12.5)</p>	構法	適用箇所	材質、形状、寸法	備考	・ デッキプレート単独の構法			JIS G 3352	・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			JIS G 3352	箇所	検査水準	※第6水準	代替エンドタブを使用する場合は、全数検査とする			<p>⑳ 構造体用モルタルの材料及び調合(グラウト材)</p> <p>材料 ※ 早強型特殊セメント系無収縮モルタル(プレミックスタイプ) ・ [8.2.6][表8.2.5] 設計基準強度 ※ $f_c=30(N/mm^2)$(材齢:28日) コンスタンシー ※ J14ロート試験法による フロー値 製造所 ※ 評価名簿による 試験 種別 圧縮強度試験 供試体: $\phi 50, H=100(J14ロート)$ 流下速度試験(を行い作成する) 回数 1組の作業班が1日に行った施工箇所毎かつ2.0m³及びその端数毎につき1回</p> <p>金属工事</p> <p>① あと施工アンカー</p> <p>② 表面処理</p> <p>施工後の確認(引張試験) ・行う ○行わない 確認強度 () (14.1.3)</p> <p>アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理の種類</th> <th>施工箇所(成形板、笠木、手すり、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>・ AB-1種 ・ AB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AC-1種 ・ AC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BA-1種 ・ BA-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BB-1種 ・ BB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BC-1種 ・ BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 常温乾燥型の塗装の場合 () (14.2.1) 陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) (14.2.2)(表14.2.2) 鉄鋼の亜鉛めっき</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ以外)</th> </tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっき</td> <td>○A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>新設鉄鋼すべて</td> </tr> <tr> <td>電気亜鉛めっき</td> <td>・ D種 ・ E種 ・ F種</td> <td></td> </tr> </table>	表面処理の種類	施工箇所(成形板、笠木、手すり、建具以外)	・ AB-1種 ・ AB-2種		・ AC-1種 ・ AC-2種		・ BA-1種 ・ BA-2種		・ BB-1種 ・ BB-2種		・ BC-1種 ・ BC-2種		・ C種		表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)	溶融亜鉛めっき	○A種 ・ B種 ・ C種	新設鉄鋼すべて	電気亜鉛めっき	・ D種 ・ E種 ・ F種	
略号	塗装	塗装面	塗替え	新規																																																																																																																																																																
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種	木部(屋外)	※B種	※A種																																																																																																																																																																
		木部(屋内)	※B種	※B種																																																																																																																																																																
		鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																
		亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種																																																																																																																																																																
鋼製建具(亜鉛めっき鋼面)	※A種	※B種																																																																																																																																																																		
CL	クリヤラッカー塗り	※B種	※A種	※B種・A種																																																																																																																																																																
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	※B種	※A種	※B種・A種																																																																																																																																																																
DP	耐水性塗料塗り 上塗り塗料等級 ・1級・2級 ③3級	鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1																																																																																																																																																																
		亜鉛めっき鋼面	表7.8.2	表7.8.2																																																																																																																																																																
EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																
		モルタル面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																
		アスター面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																
		せつこうボード面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																
		その他ボード面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																
		屋内木部	※B種	※A種																																																																																																																																																																
		屋内鉄鋼面	※B種	※A種・B種																																																																																																																																																																
		屋内亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種・B種																																																																																																																																																																
EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																
		モルタル面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																
		アスター面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																
		せつこうボード面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																
		その他ボード面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																	
ステン	ビグメントステイン塗り	表7.12.1	表7.12.1																																																																																																																																																																	
OS	オイルステイン塗り(OS)																																																																																																																																																																			
WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種																																																																																																																																																																	
CL	A種の場合の塗料の種類																																																																																																																																																																			
UC	着色・適用する																																																																																																																																																																			
OS	仕様・図示																																																																																																																																																																			
構法	適用箇所	材質、形状、寸法	備考																																																																																																																																																																	
・ デッキプレート単独の構法			JIS G 3352																																																																																																																																																																	
・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			JIS G 3352																																																																																																																																																																	
箇所	検査水準	※第6水準																																																																																																																																																																		
代替エンドタブを使用する場合は、全数検査とする																																																																																																																																																																				
表面処理の種類	施工箇所(成形板、笠木、手すり、建具以外)																																																																																																																																																																			
・ AB-1種 ・ AB-2種																																																																																																																																																																				
・ AC-1種 ・ AC-2種																																																																																																																																																																				
・ BA-1種 ・ BA-2種																																																																																																																																																																				
・ BB-1種 ・ BB-2種																																																																																																																																																																				
・ BC-1種 ・ BC-2種																																																																																																																																																																				
・ C種																																																																																																																																																																				
表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)																																																																																																																																																																		
溶融亜鉛めっき	○A種 ・ B種 ・ C種	新設鉄鋼すべて																																																																																																																																																																		
電気亜鉛めっき	・ D種 ・ E種 ・ F種																																																																																																																																																																			
環境配慮改修工事	<p>1 石綿含有建材の除去工事</p> <p>石綿含有建材の有無及び除去等 [9.1.3~9.1.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>石綿含有建材の種類</th> <th>使用部位</th> <th>使用材料</th> <th>除去工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">飛散性</td> <td>・ 石綿含有吹付け材</td> <td></td> <td>※9.1.3による</td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有保温材</td> <td></td> <td>※9.1.3による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非飛散性</td> <td>・ 石綿含有成形板等</td> <td></td> <td>※9.1.4による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※9.1.5による</td> </tr> </table> <p>石綿含有吹付け材の飛散防止処置 ※湿潤化 ・ 固形化</p> <p>・ 石綿含有仕上塗材の除去 [9.1.6] 使用部位 () 使用材料 () 除去工法 ※厚生労働省「石綿飛散防止対策徹底マニュアル」による工法の内、飛散防止に関し隔離措置と同等と判断できる工法</p> <p>除去範囲 ※図示 試験施工 ※行わない ・行う</p> <p>処分 [9.1.3] 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること。</p> <p>石綿粉じん濃度測定 [9.1.1] ※建築物石綿含有建材調査報告書により、監督職員と協議する。 ・ 行う ・行わない</p> <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定名称</th> <th>測定点</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td rowspan="2">・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>測定1</td> <td>※2点 ・ 3点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>※2点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">処理作業中</td> <td rowspan="3">・ 処理作業室内 ※セキュリティゾーン入口 ※集じん、排気装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>測定3</td> <td>※2点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>※1点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>※1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業後(隔離シート撤去前)</td> <td rowspan="2">※施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>測定6</td> <td>※4方向 各1点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>※2点以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定8</td> <td>※4方向 各1点</td> </tr> </table> <p>測定方法 ・ JIS K3850-1に基づいた測定(・測定4 ・測定5 ・測定6 ・測定7) () ・ 自動測定器による測定(・測定4 ・測定5) ()</p>	石綿含有建材の種類	使用部位	使用材料	除去工法	飛散性	・ 石綿含有吹付け材		※9.1.3による	・ 石綿含有保温材		※9.1.3による	非飛散性	・ 石綿含有成形板等		※9.1.4による			※9.1.5による	測定時期	測定場所	測定名称	測定点	処理作業前	・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定1	※2点 ・ 3点	測定2	※2点	処理作業中	・ 処理作業室内 ※セキュリティゾーン入口 ※集じん、排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	測定3	※2点	測定4	※1点	測定5	※1点	処理作業後(隔離シート撤去前)	※施工区画周辺又は敷地境界	測定6	※4方向 各1点	測定7	※2点以上		測定8	※4方向 各1点	<p>4 高力ボルト</p> <p>高力ボルトの種類 ※トルシア形高力ボルト(S10T) (7.2.2) ・ JIS 形高力ボルト(F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト(F8T相当) ・ 建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト</p> <p>ねじの呼び ※図示 すべり試験 ※実施しない ・実施する 試験の方法等 ※図示 (7.4.2) ナット回転法の場合でJIS形高力ボルトのボルト長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量(7.4.7) ※図示</p> <p>⑤ 普通ボルト</p> <p>ボルト及びナットの材料等 ※図示 ・表7.2.3による (7.2.3)(表7.2.3) ねじの呼び ※図示</p> <p>6 アンカーボルト</p> <p>・ 構造用アンカーボルトの種類 ・ ABR400 ・ ABR490 ・ ABM400 ・ ABM490 ・ 規格外 () (7.2.4) ・ 建方用アンカーボルトの種類 ・ SS400</p> <p>ねじの規格等 ※表7.2.3による</p> <p>7 ターンバックル</p> <p>建築用ターンバックルボルトの種類 ※羽子板ボルト ・ 両ねじ式 ・ アイボルト (7.2.6) 建築用ターンバックル胴の種類 ※割柱式 ・ パイプ式 種類、ねじの呼び等 ※図示</p> <p>8 床構造用のデッキプレート</p> <table border="1"> <tr> <th>構法</th> <th>適用箇所</th> <th>材質、形状、寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ デッキプレート単独の構法</td> <td></td> <td></td> <td>JIS G 3352</td> </tr> <tr> <td>・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法</td> <td></td> <td></td> <td>JIS G 3352</td> </tr> </table> <p>耐火認定 ・ 有り(耐火時間: ※図示)</p> <p>9 スタッド</p> <p>種類等 ※図示 (7.2.8)</p> <p>10 材料試験等</p> <p>板厚方向に引張力を受ける鋼板のJIS G 0901による試験 ・実施する ・実施しない (7.2.10)</p> <p>11 工作一般</p> <p>高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 (7.3.2) 仮組の実施 ・実施する(部位:) ※実施しない (7.3.10)</p> <p>12 溶接接合</p> <p>技能資格者への技量付加試験 ・行う ※行わない (7.6.3) 代替エンドタブを使用する場合は、技量付加試験を行うか、AW検定協議会が実施する代替エンドタブ検定により認定された溶接作業を行う技能資格者でなければならない</p> <p>開先の形状 ※図示 (7.6.4) スクラップの形状 ※図示 (7.6.7) エンドタブ ※切断する ・切断しない 切断する箇所 ※見えがかり部 ・図示 切断範囲 ※図示</p> <p>⑬ 溶接部の試験</p> <p>外観試験 (7.6.12) ・ 「鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1464号) 第二号に関する試験 試験方法等 ※図示 ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル(鉄骨製作管理技術者登録機構)」3.5.2受入検査による ・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査②</p> <p>⑭ JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表 3「溶接」に関する試験 試験方法等 ※図示 ⑯ JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。 ただし完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。</p> <p>完全溶込み溶接部 ・ 超音波探傷試験 工場溶接の場合 AOQL ※4.0% ・ 2.5%</p> <table border="1"> <tr> <th>箇所</th> <th>検査水準</th> <th>※第6水準</th> </tr> <tr> <td>代替エンドタブを使用する場合は、全数検査とする</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 放射線透過試験 試験箇所 () ・ マクロ試験(エンドタブ使用) 試験箇所 ()</p> <p>14 デッキプレートの溶接</p> <p>※図示 (7.7.8)</p> <p>15 錆止め塗装の範囲</p> <p>※7.8.2(1)による ・図示 (7.8.2)</p> <p>16 錆止め塗料の種類</p> <p>・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) (7.8.4) ※表18.3.1のA種 ・ 耐火被覆材の接着する面 適用箇所 ※図示 塗装の種類 ・表18.3.1のA種</p> <p>17 耐火被覆</p> <p>種類 (7.9.2) ・ 耐火材吹付け工法 (7.9.4) ・ ロックウール吹付け工法(・乾式工法 ・半乾式工法 ・湿式工法) ・ 耐火板張り工法(・繊維混入けい酸カルシウム板) ・ 耐火材巻付け工法(・高断熱ロックウール) ・ ラス張りモルタル塗り 左官工法 (7.9.7) ・ 耐火塗料 塗装工法 (7.9.8) ・ 図示</p> <p>18 アンカーボルトの保持及び埋込み工法</p> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3)(表7.10.1) 種類 ・ A種 ※ B種 (7.10.3)(7.2.4) 構造用アンカーボルト ※図示 ・ 形状 ()、寸法 () アンカーフレーム ※図示 ・ 形状 ()、寸法 () 柱底均しモルタルの厚さ及び種別※50mm ・ ※ A種 ・ B種 (7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2) 無収縮モルタルの製造所 評価名簿による 無収縮モルタルの調合等 ※7.2.9(2)による (7.2.9)</p> <p>19 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合</p> <p>摩擦面の処理方法等 ※プラスト処理又はりん酸塩処理 (7.12.5)</p>	構法	適用箇所	材質、形状、寸法	備考	・ デッキプレート単独の構法			JIS G 3352	・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			JIS G 3352	箇所	検査水準	※第6水準	代替エンドタブを使用する場合は、全数検査とする			<p>貫通孔補強標準図</p> <p>○タイプ(0.2H<φ≤0.3H) ○タイプ(0.3H<φ<0.4H)</p> <p>○ 0.2H以下は補強なし ○ ウェブプレート10mm以上は両面補強とする。 ○ 特記なき限り補強方法は上図によるが、孔径(φ)は0.4以下とし、そのピッチは3.0φ以上とする。 ○ スリーブは梁成の中央1/2の範囲とする。</p>																																																																																																		
石綿含有建材の種類	使用部位	使用材料	除去工法																																																																																																																																																																	
飛散性	・ 石綿含有吹付け材		※9.1.3による																																																																																																																																																																	
	・ 石綿含有保温材		※9.1.3による																																																																																																																																																																	
非飛散性	・ 石綿含有成形板等		※9.1.4による																																																																																																																																																																	
			※9.1.5による																																																																																																																																																																	
測定時期	測定場所	測定名称	測定点																																																																																																																																																																	
処理作業前	・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定1	※2点 ・ 3点																																																																																																																																																																	
		測定2	※2点																																																																																																																																																																	
処理作業中	・ 処理作業室内 ※セキュリティゾーン入口 ※集じん、排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	測定3	※2点																																																																																																																																																																	
		測定4	※1点																																																																																																																																																																	
		測定5	※1点																																																																																																																																																																	
処理作業後(隔離シート撤去前)	※施工区画周辺又は敷地境界	測定6	※4方向 各1点																																																																																																																																																																	
		測定7	※2点以上																																																																																																																																																																	
	測定8	※4方向 各1点																																																																																																																																																																		
構法	適用箇所	材質、形状、寸法	備考																																																																																																																																																																	
・ デッキプレート単独の構法			JIS G 3352																																																																																																																																																																	
・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			JIS G 3352																																																																																																																																																																	
箇所	検査水準	※第6水準																																																																																																																																																																		
代替エンドタブを使用する場合は、全数検査とする																																																																																																																																																																				
鉄骨工事	<p>① 鉄骨製作工場</p> <p>※「指定性能評価機関」による大臣認定工場で当該設計図書の内容を満たす評価基準を有する工場 (7.1.3) ○ Sグレード ○ Hグレード ○ Mグレード ○ Rグレード ○ Jグレード ・ 監督職員の承諾する工場</p> <p>② 鉄骨製作工場における施工管理技術者の配置 (7.1.4) ※適用する</p> <p>③ 鋼材 (7.2.1)(表7.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td>溝形鋼</td> <td>[200×80×7.5×11]</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td>切板</td> <td>PL-6、12、22</td> <td>※図示</td> </tr> </table>	種類	形状	寸法	使用箇所	SS400	溝形鋼	[200×80×7.5×11]	※図示	SS400	切板	PL-6、12、22	※図示	<p>工事名</p> <p>高知市 都市建設部 公共建築課</p> <p>第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事</p> <p>係 係長 課長補佐 課長 図面番号</p> <p>AA-04</p> <p>図面名 改修特記仕様書(4) 縮尺 作図 2026年 4月 日</p>																																																																																																																																																						
種類	形状	寸法	使用箇所																																																																																																																																																																	
SS400	溝形鋼	[200×80×7.5×11]	※図示																																																																																																																																																																	
SS400	切板	PL-6、12、22	※図示																																																																																																																																																																	

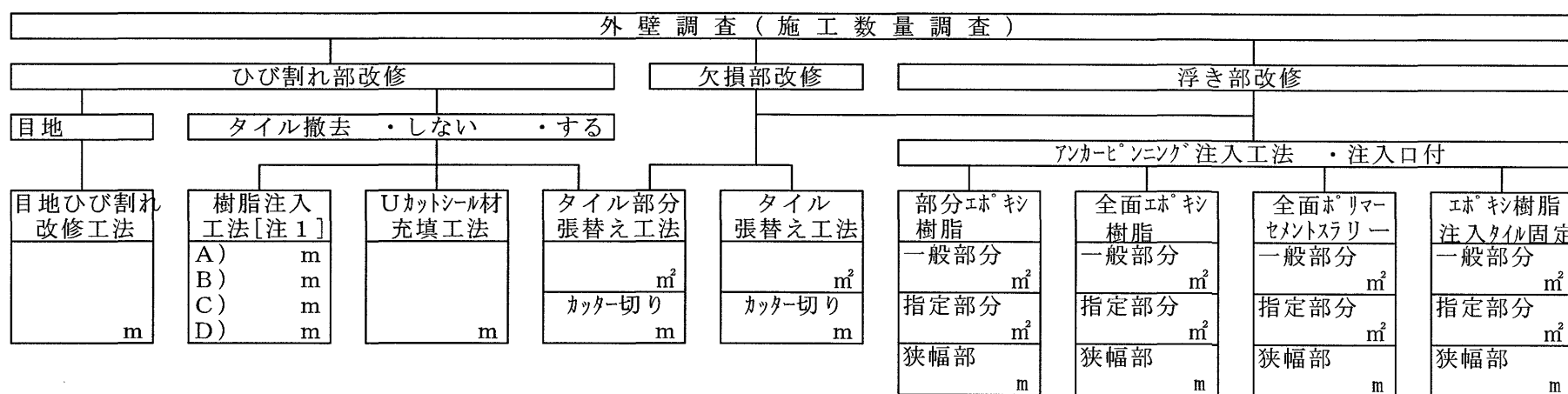
・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合



○モルタル塗り仕上げ外壁の場合

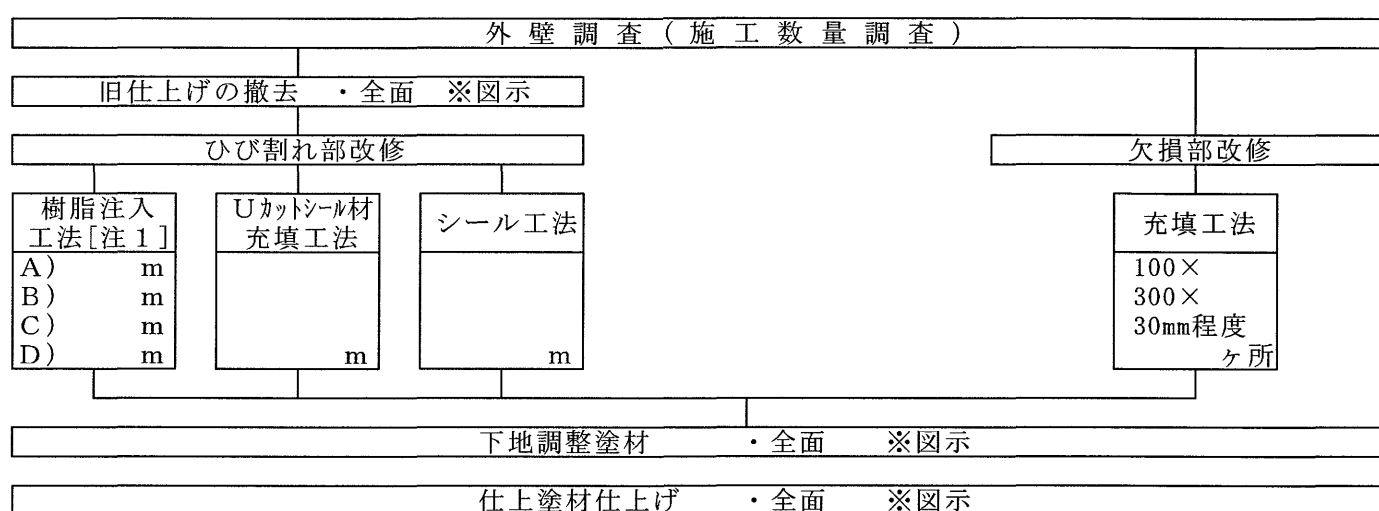


・タイル張り仕上げ外壁の場合

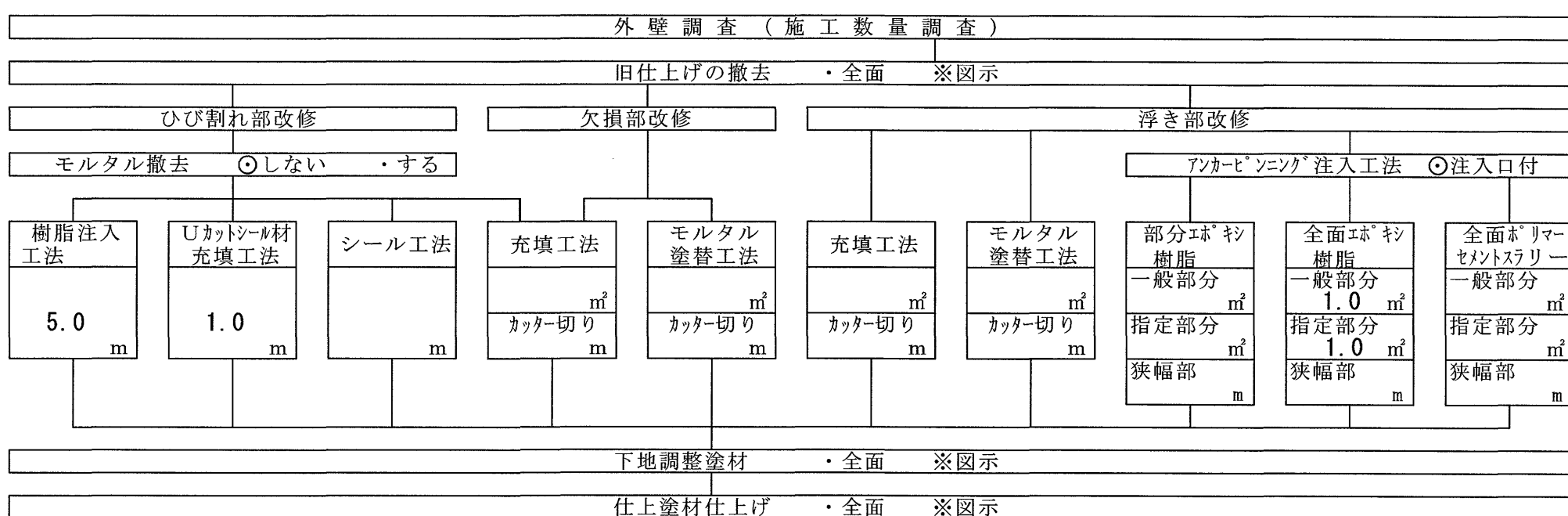


(注1) ひび割れ幅(mm)が、A)0.2以上1.0以下、B)0.2以上0.3未満、C)0.3以上0.5未満、D)0.5以上1.0以下を示す
A)は自動式低圧エキボシ樹脂注入工法を示し、
B)・C)・D)は手動式エキボシ樹脂注入工法、機械式エキボシ樹脂注入工法を示す。

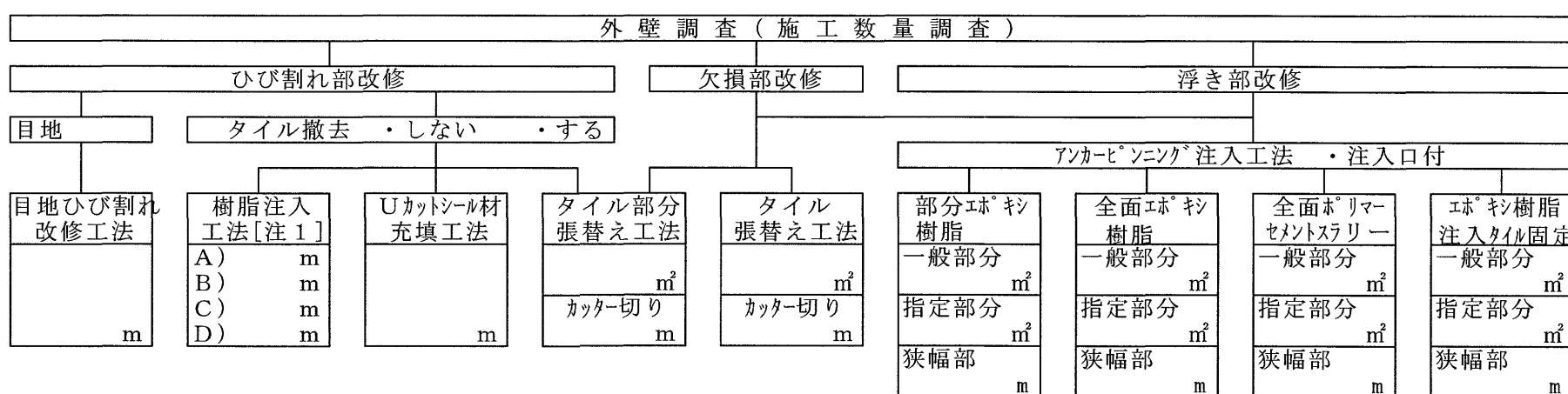
・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合



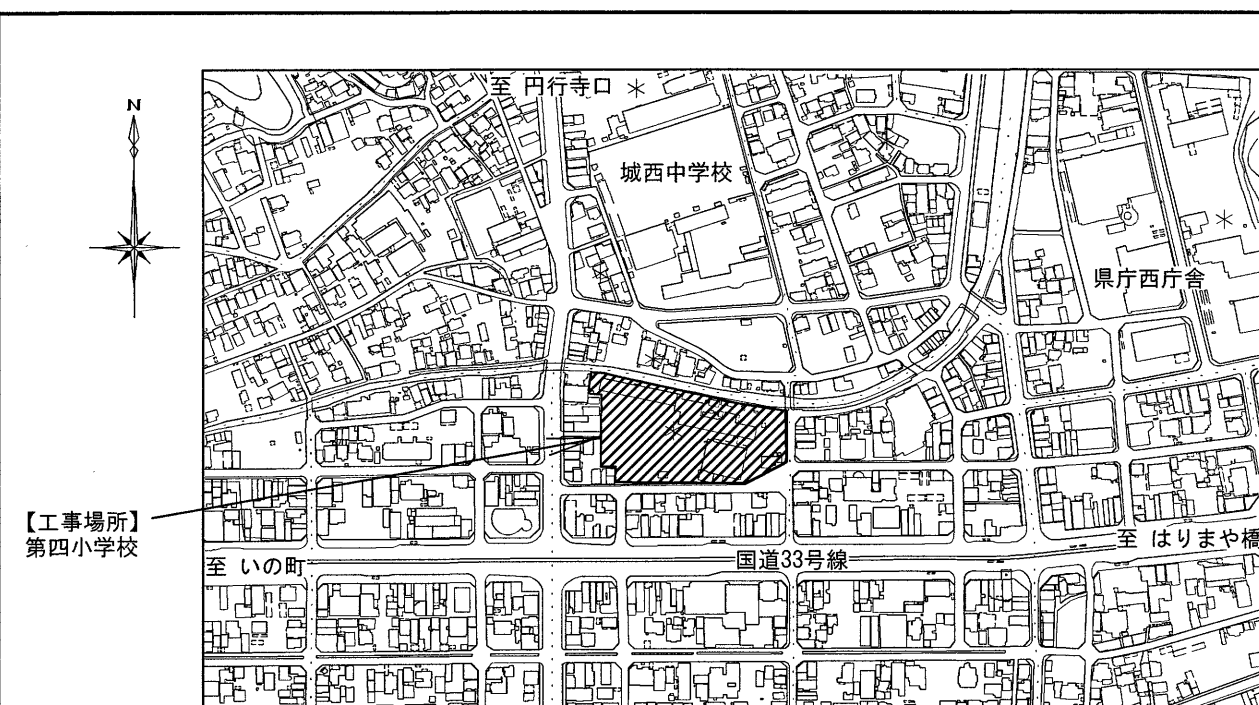
○モルタル塗り仕上げ外壁の場合



・タイル張り仕上げ外壁の場合



(注1) ひび割れ幅(mm)が、A)0.2以上1.0以下、B)0.2以上0.3未満、C)0.3以上0.5未満、D)0.5以上1.0以下を示す
A)は自動式低圧エキボシ樹脂注入工法を示し、
B)・C)・D)は手動式エキボシ樹脂注入工法、機械式エキボシ樹脂注入工法を示す。



■ 凡例

- ◀ : 工事用出入口 ※7:30~8:30は通行禁止とする
- ▶ : 利用者出入口 仮設ゲート
寸法図のとおり合板等にてゲートを作成し、出入口の安全を図ること。
- ⊗ : 工事範囲
- ⊠ : 工事車両置場および資機材置場
※資機材置場とする際は仮囲い(ガードフェンスH=1,800程度)で囲うこと

■ 施工条件

工事に支障のない範囲で、屋内の換気が行えるように配慮すること。

外壁面に設置されている設備(配線・配管・室外機など)は既存のままとし、養生のうえ作業を行うこと。

躯体の削孔及びはつり作業は、授業中は作業禁止とする。(校時表参照)

南門からの給食用車輛の進入について注意すること。(夏季休業期間以外)

外壁補強については夏季休業期間(7月22日~8月28日)に行うこと。

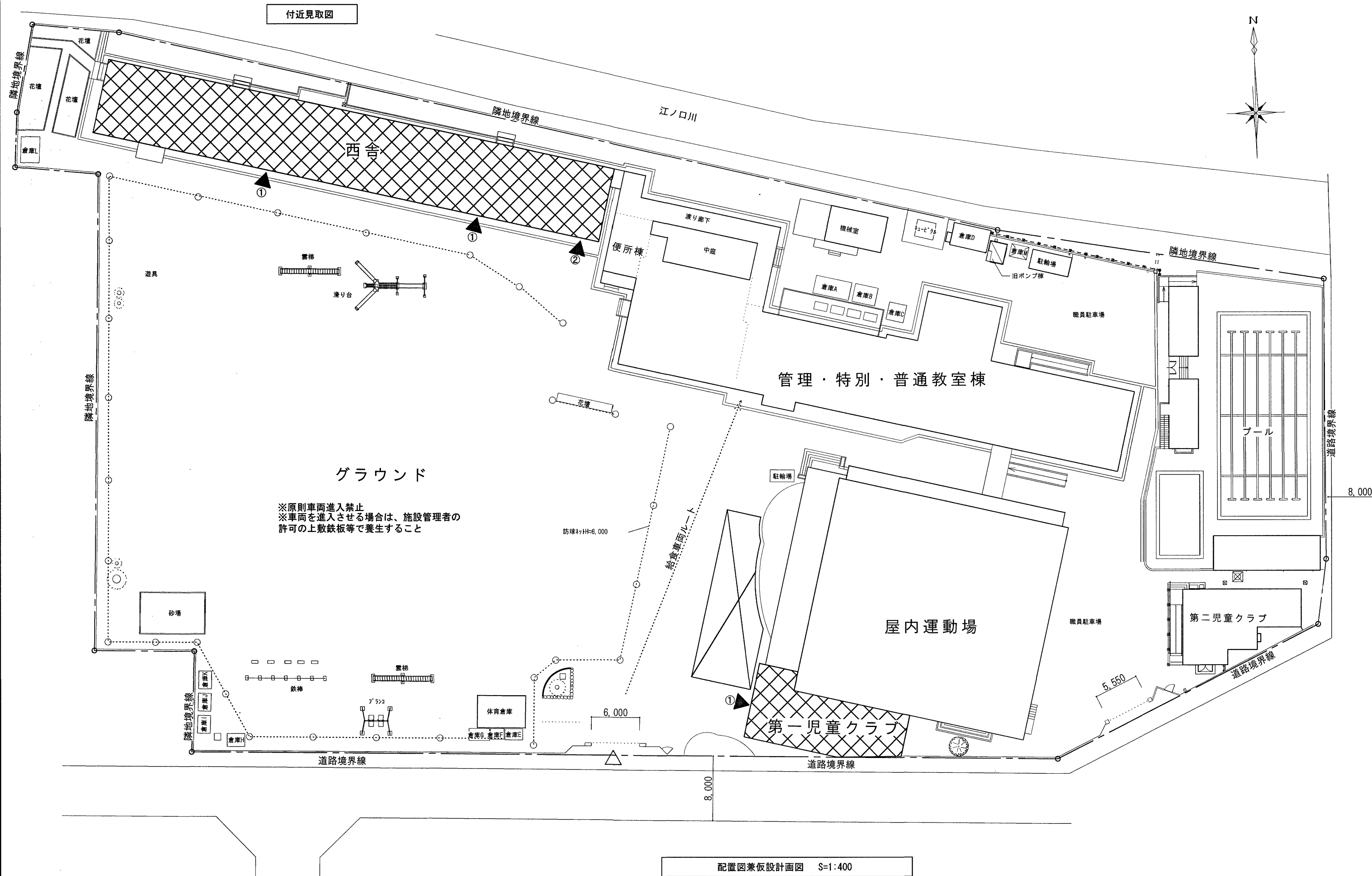
学校行事(下記)の日は作業禁止とする。

6月20日(終日)
7月15日(午後)、16日(午後)
9月11日(終日)、16日(午前)、18日(午後)
10月2日(終日)、23日(午前)、24日(午後)、26日~30日(終日※屋内運動場のみ)
11月1日~5日(終日※屋内運動場のみ)、6日(終日)、7日(終日)、12日(終日)、13日(終日)

※なお、学校行事予定が変更になる等、作業可能となる場合もあるため、事前に施設管理者に確認すること

■ 利用者出入口 三方養生 寸法図

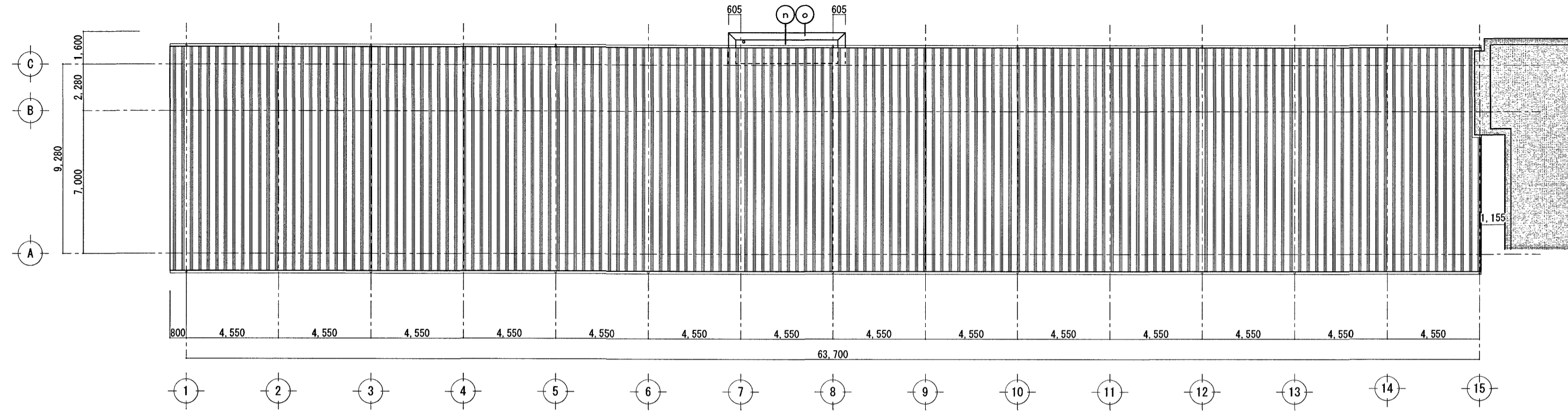
※合板等にて足場及び足場と建物の隙間を三方養生を行うこと。
※出隅部は養生すること。



令和8年度 校時表 高知市立第四小学校

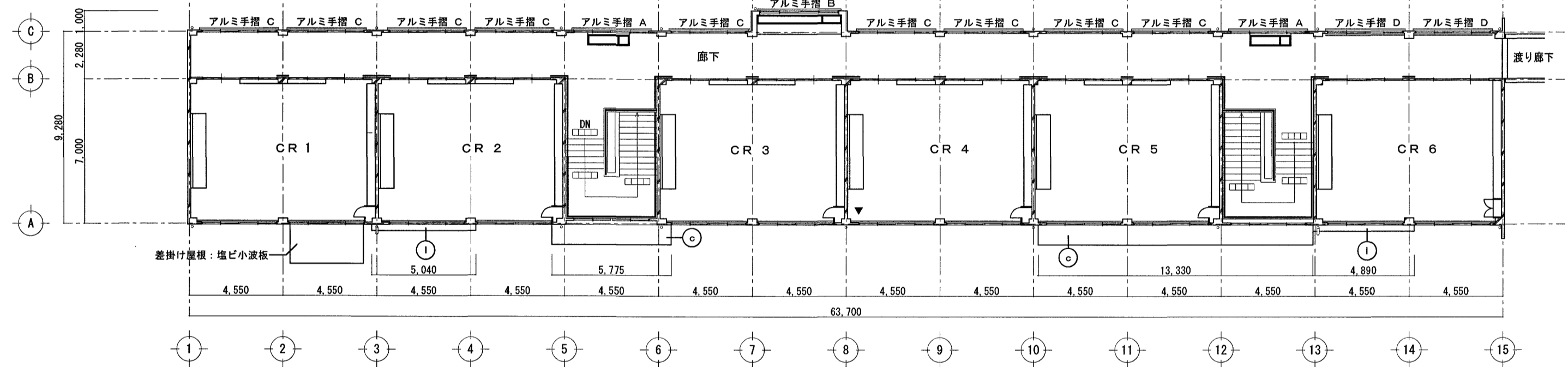
月・火	水	木	金	土・日
8:30 読書 読み聞かせ	レベルアップ タイム 国語	①全校朝会 ②児童集会 ③音楽集会 ④体育集会	朝読書	レベルアップ タイム 国語
8:40	朝の会 ※出席確認・健康状態等の把握			
8:50	1 校時			
9:35	移動・準備・トイレ休憩(10分)			
9:45	2 校時			
10:30	休み時間(20分)			
10:50	3 校時			
11:35	移動・準備・トイレ休憩(10分)			
11:45	4 校時			
12:30	給食(40分)			
13:10	休	休	休	休
13:35	縦割り清掃	縦割り清掃	縦割り清掃	縦割り清掃
13:50	移動・キュビタタイム	移動・キュビタタイム	移動・キュビタタイム	移動・キュビタタイム
14:00	5 校時	1~2年下校14:25完了 (クラブの日は3年下校14:25) 委員会の日3~4年下校14:25	5 校時	1年生下校 14:25完了
14:45	移動・準備・トイレ休憩(10分)	委員会・クラブ・授業研 14:25~15:10 クラブ・委員会・授業研のない日は 全学年14:25	移動・準備・トイレ 休憩	6 校時
14:55	6 校時	下校完了15:20	6 校時	下校完了15:20
15:40	学芸指導 帰りの会 下校完了16:15	職員協議 職員研修 部会・分室会 15:30~17:00	学芸指導 帰りの会 下校完了16:15	校内交流会(選定) 16:00~16:45
16:15	研究協議委員会(第1次) 運営委員会(第2次) メンター会(第3次) 16:20~17:00	<研究授業日程> 14:25 授業学級以外下校 14:25~15:10 研究授業 15:20 授業学級下校 15:30 事後研		
17:00				

配置図兼仮設計画図 S=1:400



屋根伏図 S=1:200

外部仕上げ(改修前)	改修内容
平場 : シート防水t=1.5 スポンジシートt=10 立上り : シート防水t=1.5【撤去】	平場 : 水洗い + 合成高分子系F-フロンシート防水 (SM-2) 高日射反射率塗料【新設】 立上り : 水洗い + マリマセトベ-ス塗 + 合成高分子系F-フロンシート防水 接着工法 高日射反射率塗料【新設】
パラペット : 防水モルタル	パラペット : 水洗い + 劣化改修 + マリマセトベ-ス塗 塗膜防水 (X-2) 高日射反射率塗料【新設】

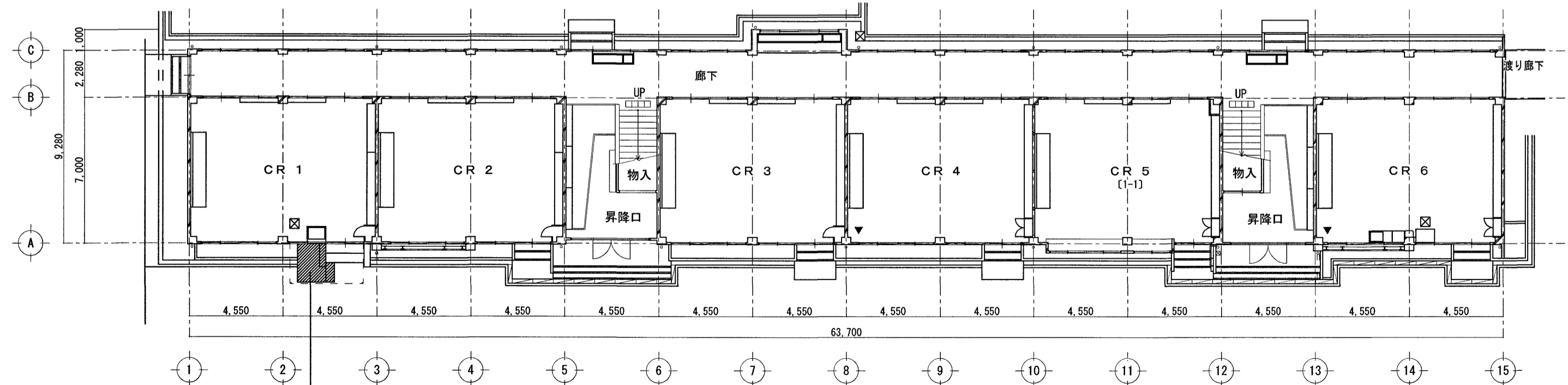


2階平面図 S=1:200

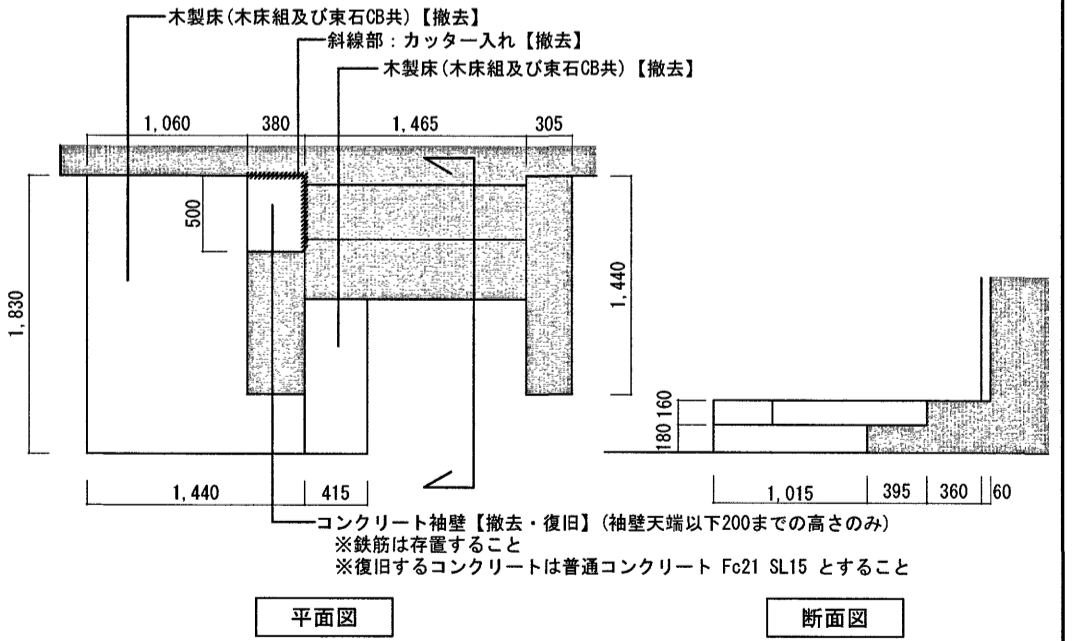
外部仕上げ(改修前)	改修内容
防水モルタル下地 塗膜防水 (X-2)	水洗い + 塗膜防水 (X-2)【新設】
コンクリート直均し下地 塗膜防水 (X-2)	水洗い + 塗膜防水 (X-2)【新設】

※アルミ手摺 (A・B・C・D) は、【一時撤去・再設置】を行うこと。

BR 1、(2) …補強鉄骨耐震ブレースを示す
▶ …耐震スリット (W=30) を示す



1階平面図 S=1:200



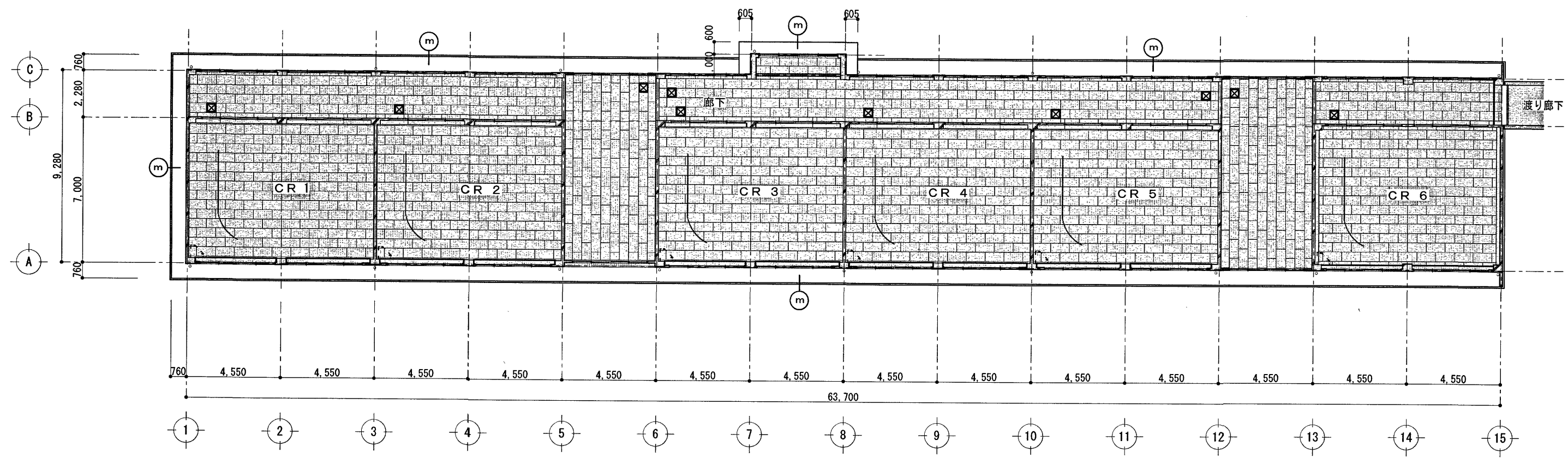
木製床詳細図 S=1:50

BR 1、(2) …補強鉄骨耐震ブレースを示す
▶ …耐震スリット (W=30) を示す

※ 内部改修なし
※ 【 】記載なき部分は、既存のままとする

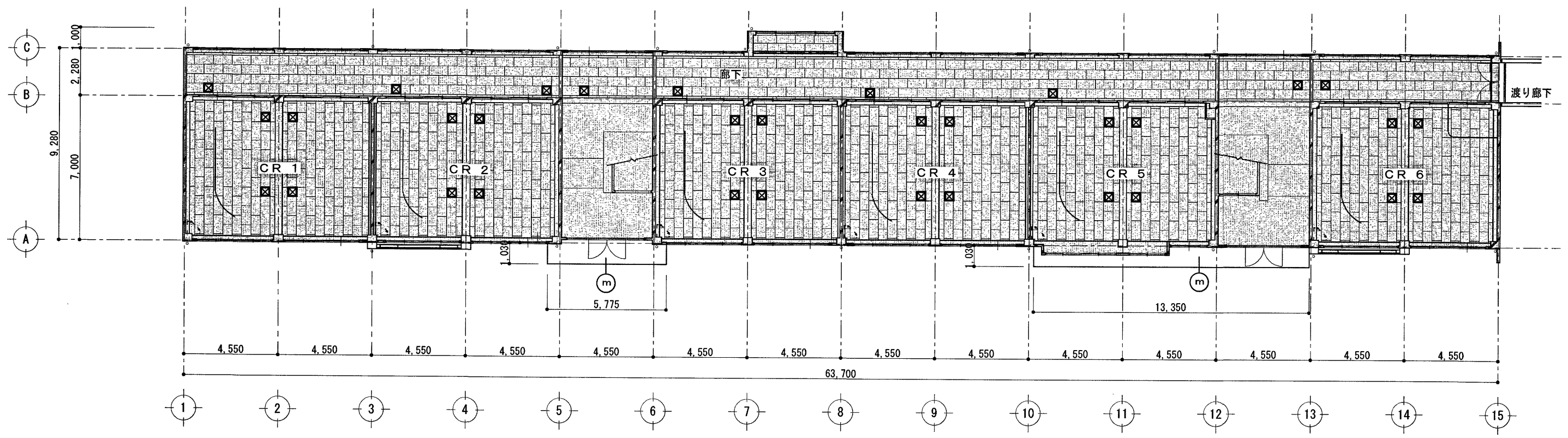
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	【西舎】平面図	縮尺	図示	作図	2026年 4月 日	AN-01

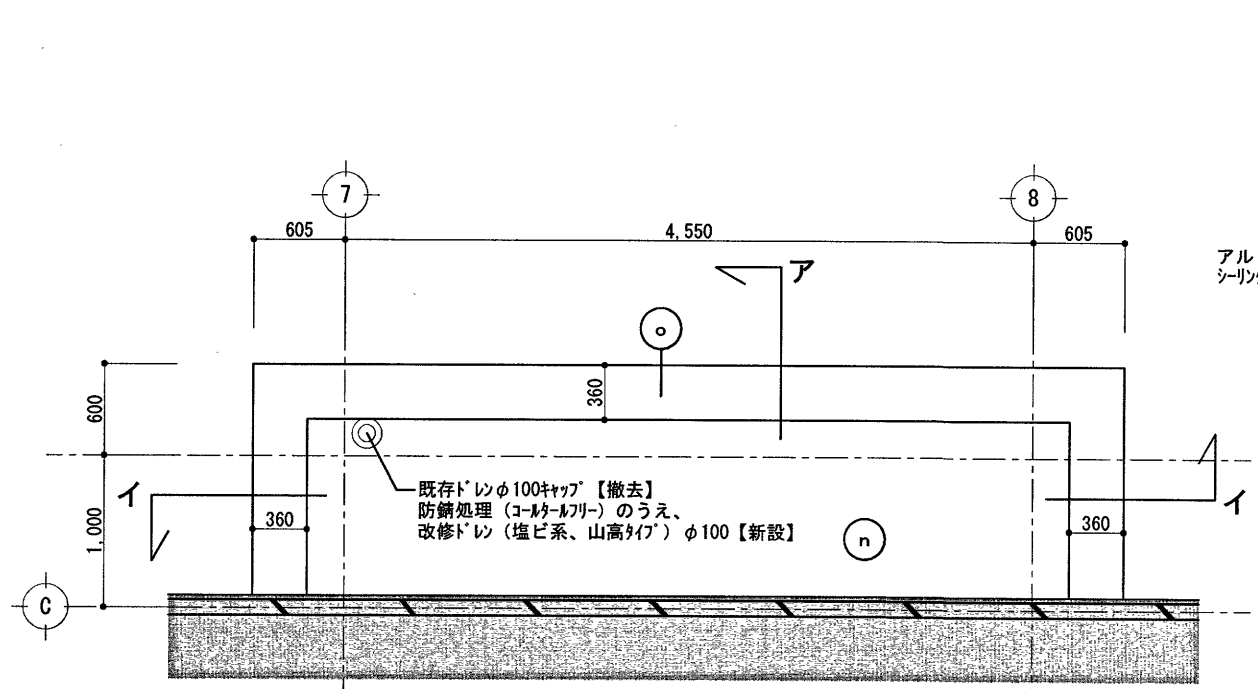


2階天井伏図 S=1:200

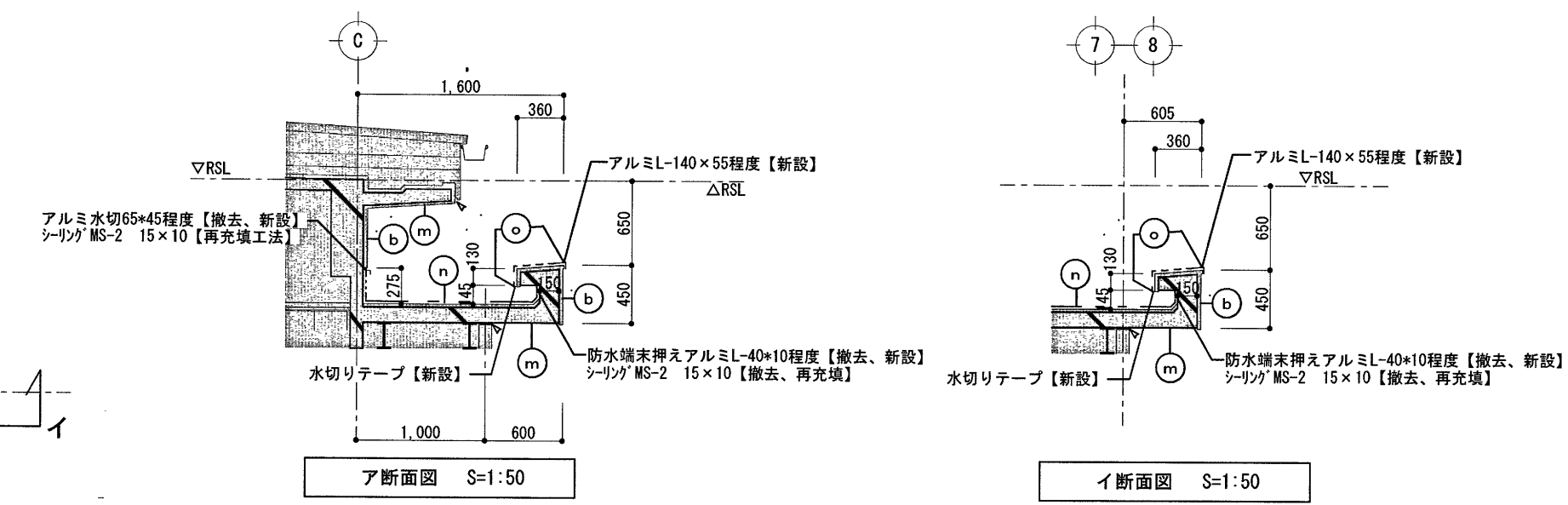
天井仕上げ(改修前)	改修内容
(m) 外装薄塗材Eの上 下地調整 外装薄塗材E	水洗い + 劣化改修 + 外装薄塗材E吹付【改修】



1階天井伏図 S=1:200

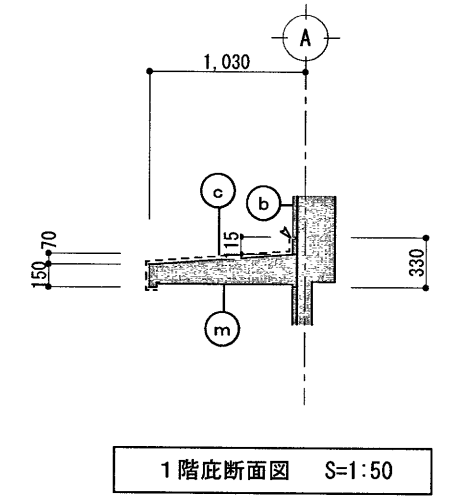


R階屋上平面図 S=1:50



A断面図 S=1:50

I断面図 S=1:50



1階底断面図 S=1:50

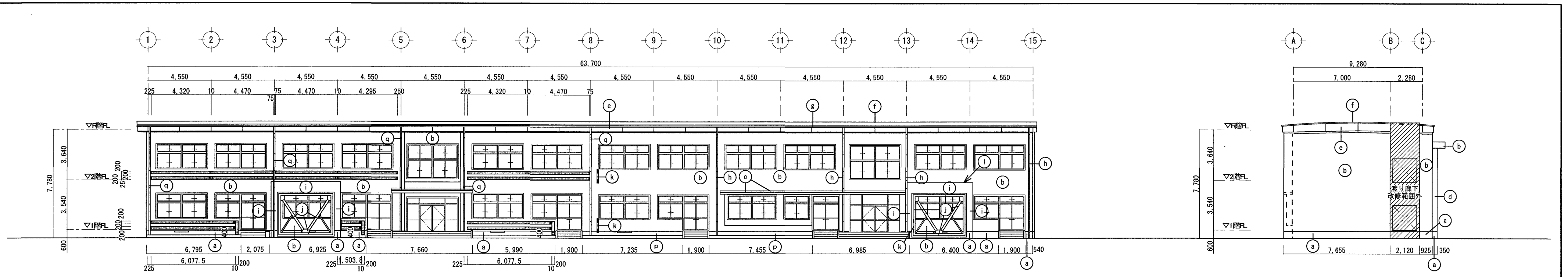
外部仕上げ(改修前)	改修内容
(b) モルタル下地 外装薄塗材Eの上 複層塗材E	水洗い + 劣化改修 + 下地調整 + 複層塗材E吹付【改修】
(m) 外装薄塗材Eの上 下地調整 外装薄塗材E	水洗い + 劣化改修 + 外装薄塗材E吹付【改修】
(n) 平場 : シート防水t=1.5, スポンジシートt=10 立上り : シート防水t=1.5【撤去】	平場 : 水洗い + 合成高分子系メーフィングシート防水 (SM-2) 高日射反射率塗料【新設】 立上り : 水洗い + 水性モルタルベース塗 + 合成高分子系メーフィングシート防水 接着工法 高日射反射率塗料【新設】
(o) パラペット : 防水モルタル	パラペット : 水洗い + 劣化改修 + 水性モルタルベース塗 + 塗膜防水 (X-2) 高日射反射率塗料【新設】
(v) シーリング (MS-2) 15×10【撤去】	シーリング (MS-2) 15×10【再充填】

天井仕上げ(改修前)	改修内容
(b) モルタル下地 外装薄塗材Eの上 複層塗材E	水洗い + 劣化改修 + 下地調整 + 複層塗材E吹付【改修】
(c) 防水モルタル下地 塗膜防水 (X-2)	水洗い + 塗膜防水 (X-2)【改修】
(m) 外装薄塗材Eの上 下地調整 外装薄塗材E	水洗い + 劣化改修 + 外装薄塗材E吹付【改修】
(v) シーリング (MS-2) 15×10【撤去】	シーリング (MS-2) 15×10【再充填】

※ 内部改修なし
※ 【 】記載なき部分は、既存のままとする

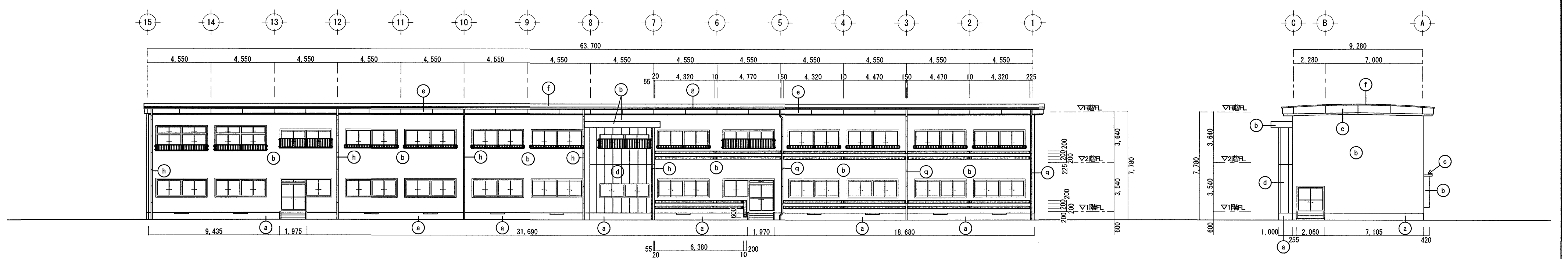
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	【西舎】天井伏図、R階屋上平面図、各部断面図	縮尺	図示	作図	2026年 4月 日	AN-02



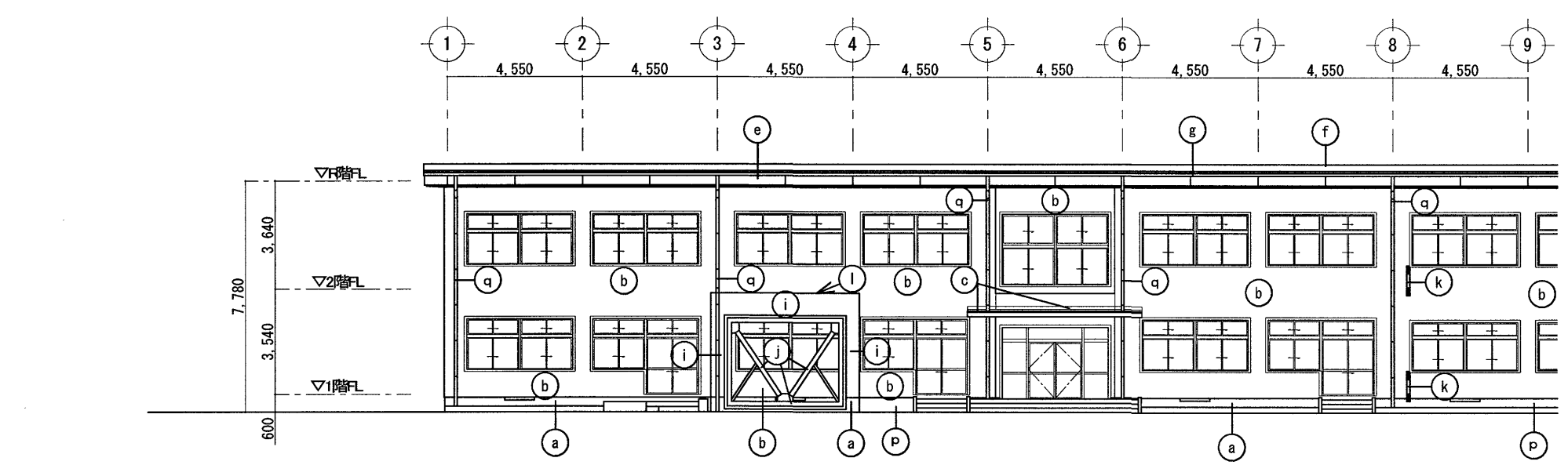
改修後南側立面図 S=1:200 〰️外壁補強 [-200×80×7.5×11 DP塗【新設】
※1階部分は、出隅の面取り加工及びボルトキャップを行うこと

東側立面図 S=1:200

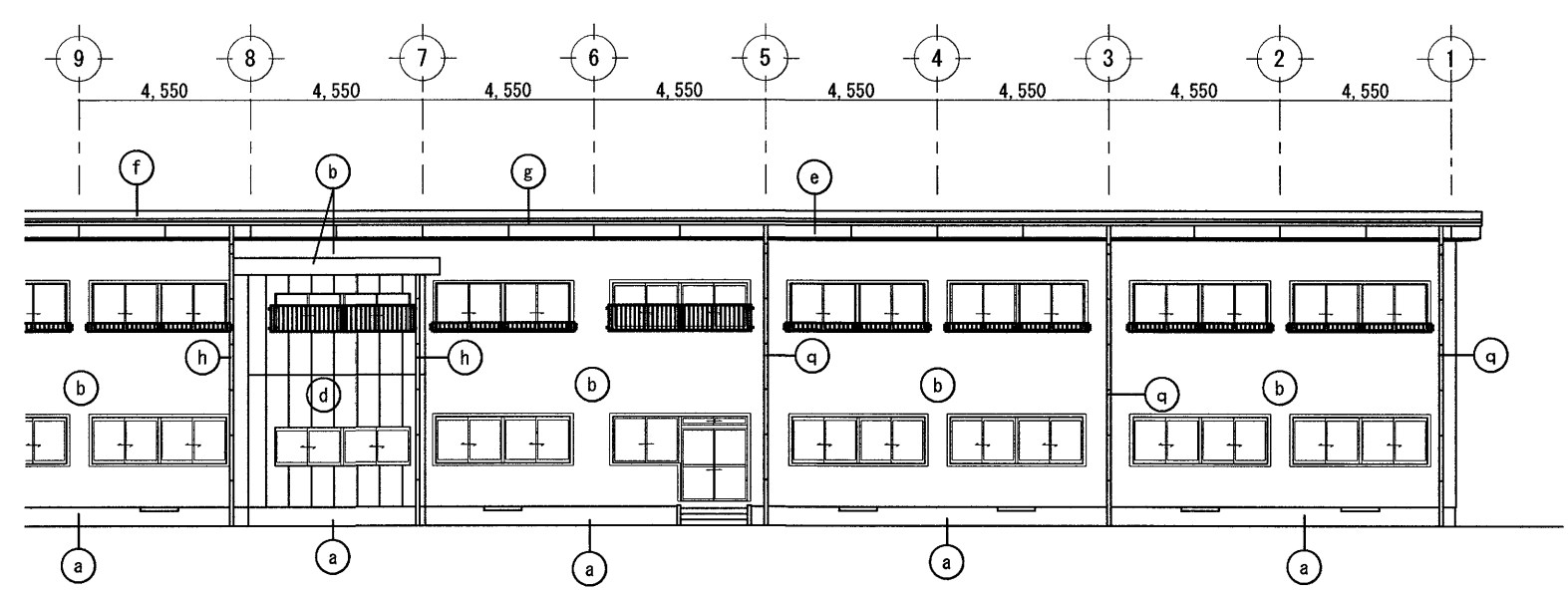


改修後北側立面図 S=1:200 〰️外壁補強 [-200×80×7.5×11 DP塗【新設】
※1階部分は、出隅の面取り加工及びボルトキャップを行うこと

西側立面図 S=1:200



①～⑧通 改修前南側立面図 S=1:200



①～⑧通 改修前北側立面図 S=1:200

部位	外部仕上げ(改修前)	改修内容	部位	外部仕上げ(改修前)	改修内容		
a	根巻き	モルタル刷毛引き	水洗い【改修】	i	外壁	合板型枠コンクリート打放し 複層塗材E吹付	水洗い + 劣化改修 + 下地調整 + 複層塗材E吹付【改修】
b	外壁	モルタル下地 外装薄塗材Eの上 複層塗材E	水洗い + 劣化改修 + 下地調整 + 複層塗材E吹付【改修】	j	耐震ブレース	亜鉛・アルミニウム溶射面 DP塗	ブレース周囲シーリング(MS-2)15×10【再充填】
c	庇	防水モルタル下地 塗膜防水(X-2)	水洗い + 塗膜防水(X-2)【改修】	k	耐震刈刈	アルミパネルカバー t=2.0	【既存のまま】
d	外壁	ALC板t=100下地 外装薄塗材の上 複層塗材E ALC目地シーリング(PU-2)10×10【撤去】	水洗い + 劣化改修 + 下地調整 + 複層塗材E吹付【改修】 ALC目地シーリング(PU-2)10×10【再充填】	l	庇	塗膜防水(X-2) コンクリート直均し下地	水洗い + 劣化改修 + 塗膜防水(X-2)【改修】
e	幕板	カラー鉄板張りt=0.8 DP塗 目地シーリング(MS-2)15×10 @2250【撤去】	【既存のまま】 目地シーリング(MS-2)15×10 @2250【再充填】	m	根巻き	モルタル刷毛引き【撤去】	モルタル塗り t=25【新設】
f	屋根	カラー鉄板t=0.6 折板葺き DP塗	【既存のまま】	n	堅壁	か-VPφ100(SUS支持金物)【撤去】	か-VPφ100(SUS支持金物)【新設】
g	軒樋	塩ビ製軒樋	【既存のまま】	<small>※外部建具周囲及び水切りシーリング(MS-2)15×10【撤去・再充填】を行うこと。 ※ALC壁との取合いシーリング(MS-2)15×10【撤去・再充填】を行うこと。 ※2階北面アルミ手摺【一時撤去・再設置】を行うこと。</small>			
h	堅壁	か-VPφ100(SUS支持金物)	【既存のまま】				

《劣化改修表》

仕上げ	損傷内容	工法	予定数量
モルタル	ひび割れ(0.2以上1.0mm未満)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	20.0 m
モルタル	ひび割れ(1.0mm超え)	Uカットシーリング材充填工法	10.0 m
モルタル	欠損	欠損部充填工法	1.0 m ²
モルタル	浮き(一般部)	注入口付アホビノン® 全面球杉樹脂注入工法	1.0 m ²
モルタル	浮き(指定部)	注入口付アホビノン® 全面球杉樹脂注入工法	1.0 m ²
モルタル	浮き(狭幅部)	注入口付アホビノン® 全面球杉樹脂注入工法	5.0 m

※ 数量及び工法は予定で、施工数量調査の結果により変更する。

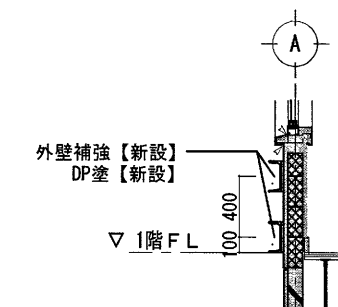
※ 【 】記載なき部分は、既存のままとする

高知市 都市建設部 公共建築課

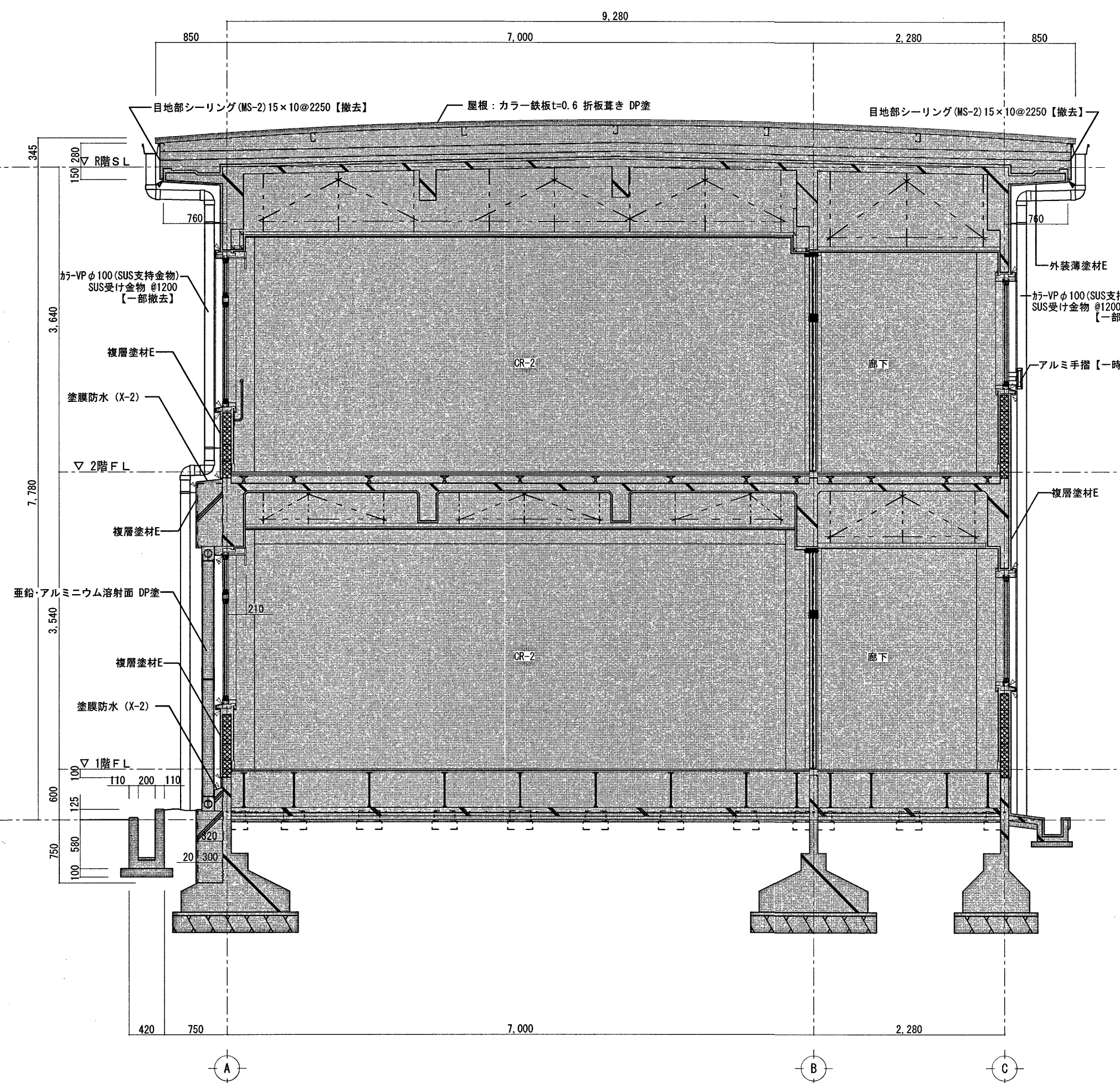
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事					AN-03
図面名	縮尺	図示	作図	2026年 4月 日	
【西舎】立面図					

改修前

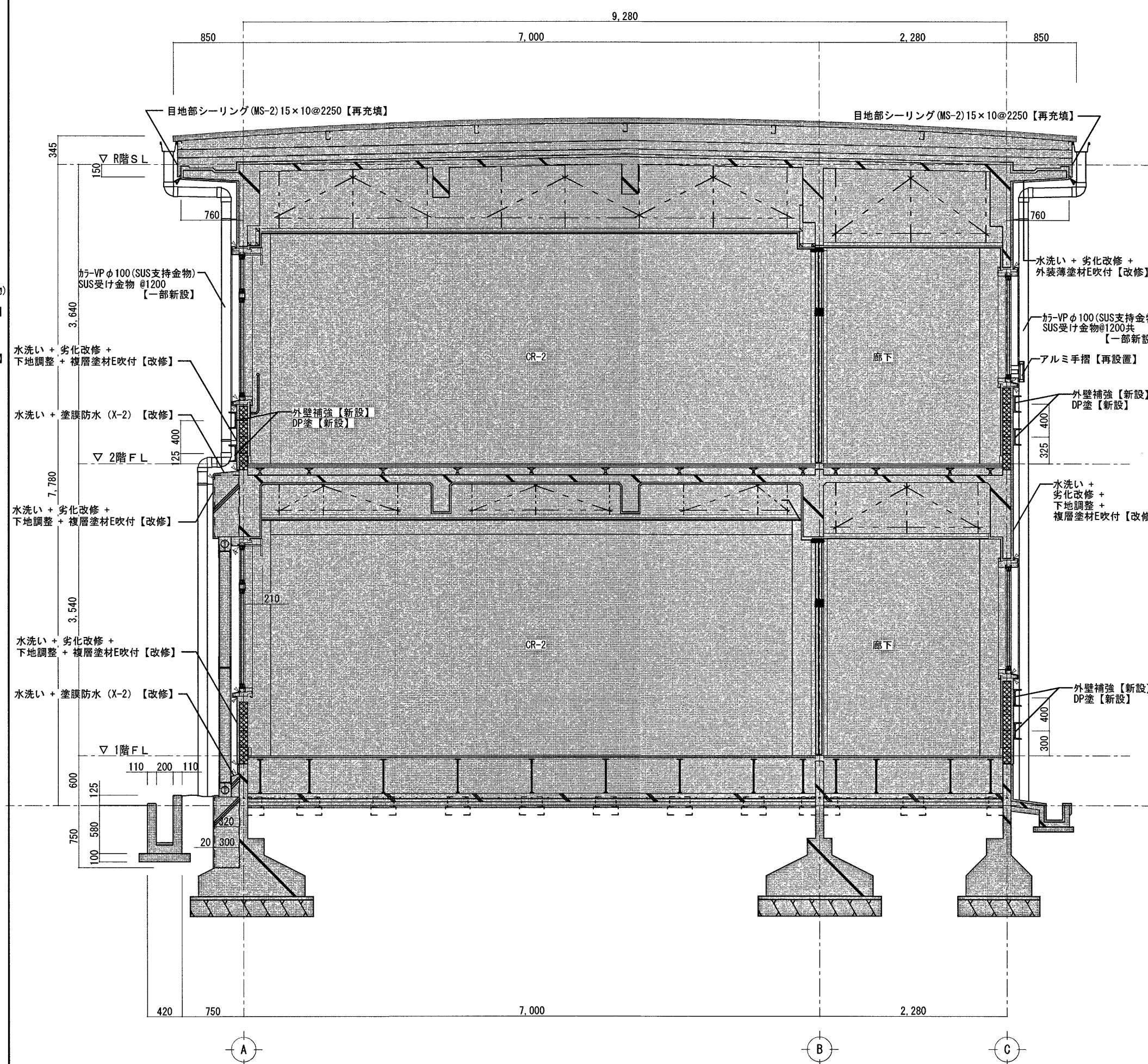
改修後



耐震補強外改修後矩計図 S=1:50



改修前矩計図 S=1:50 φ:シーリング(MS-2)15×10【撤去】を示す。

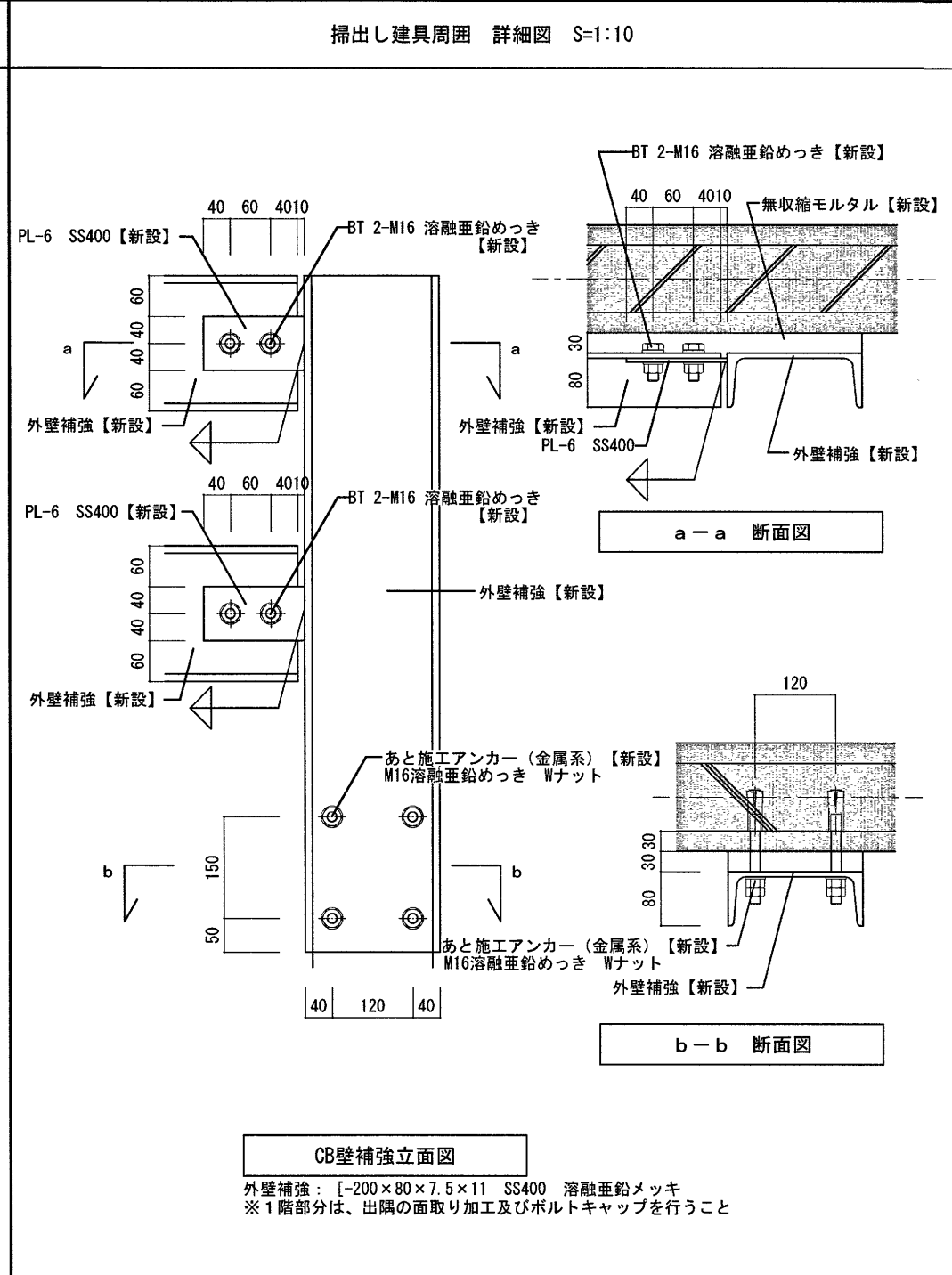
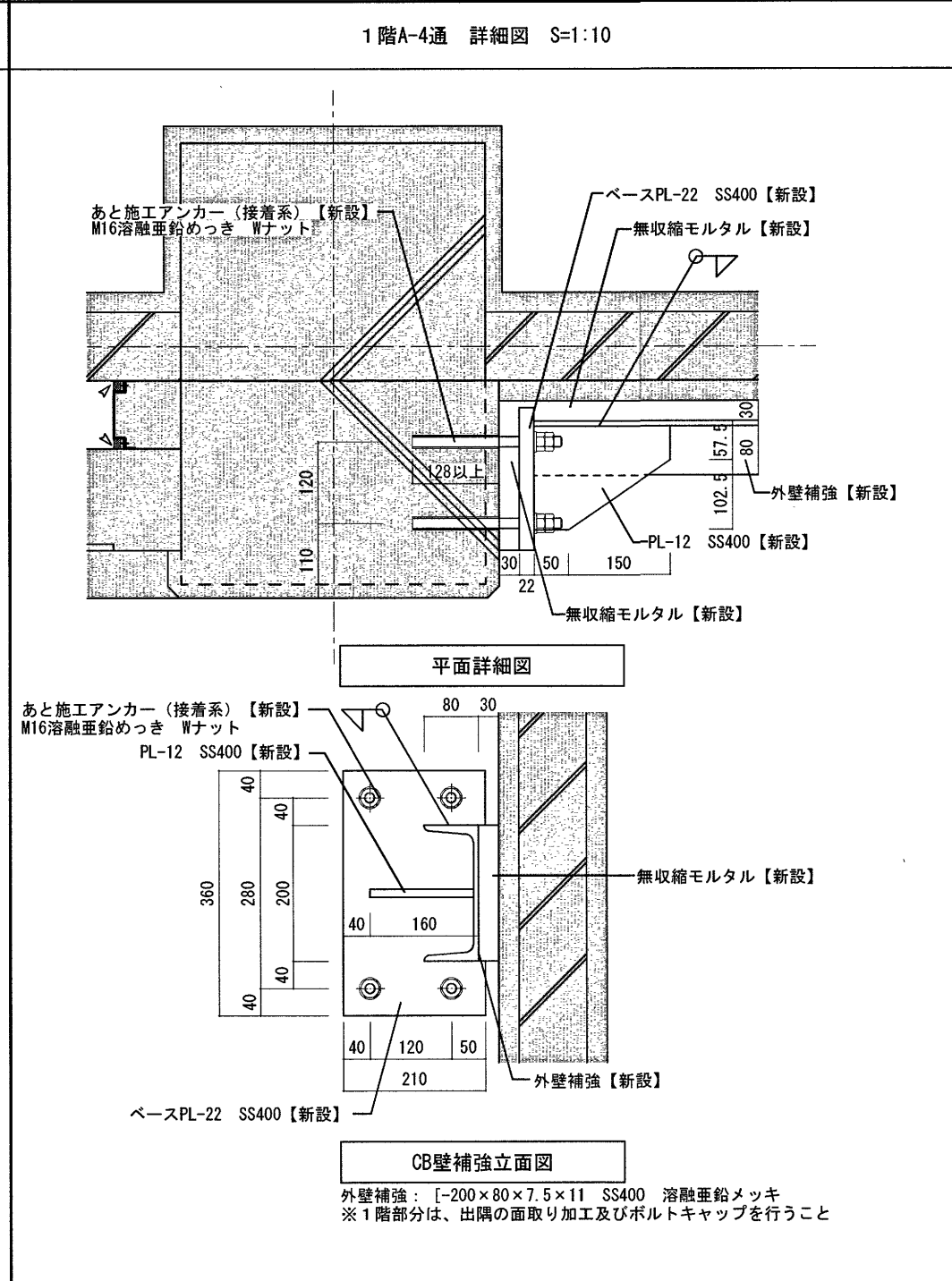
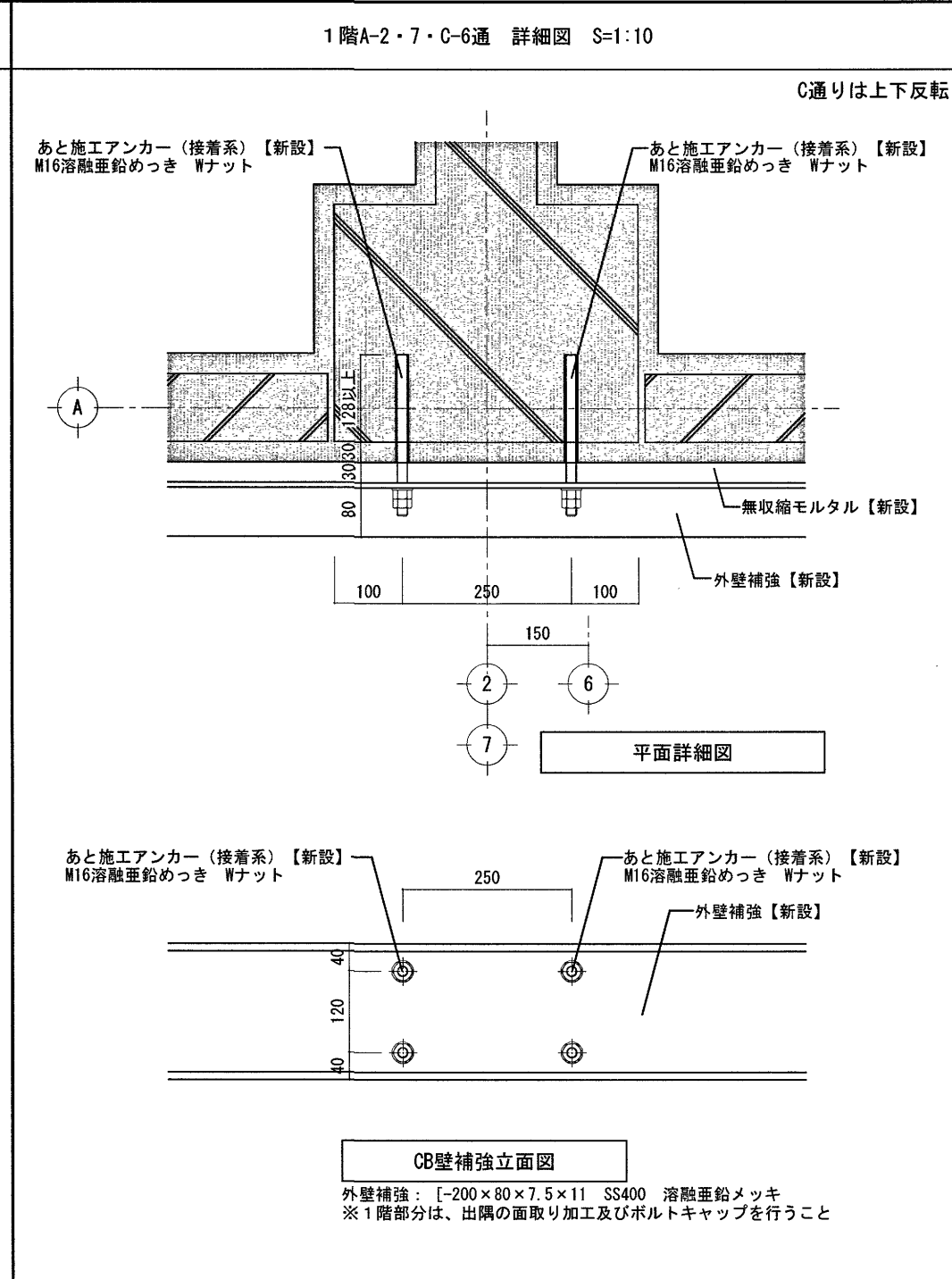
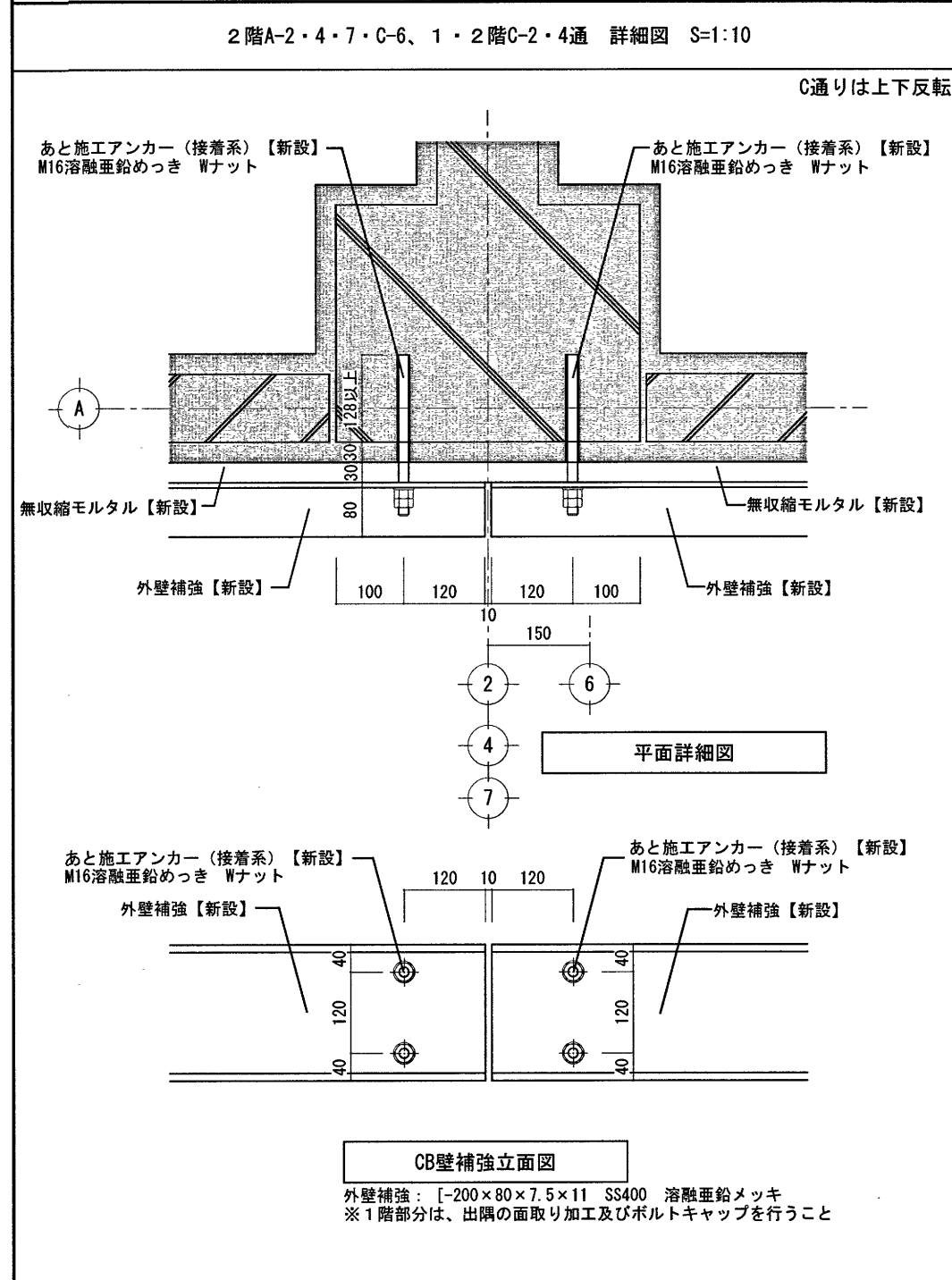
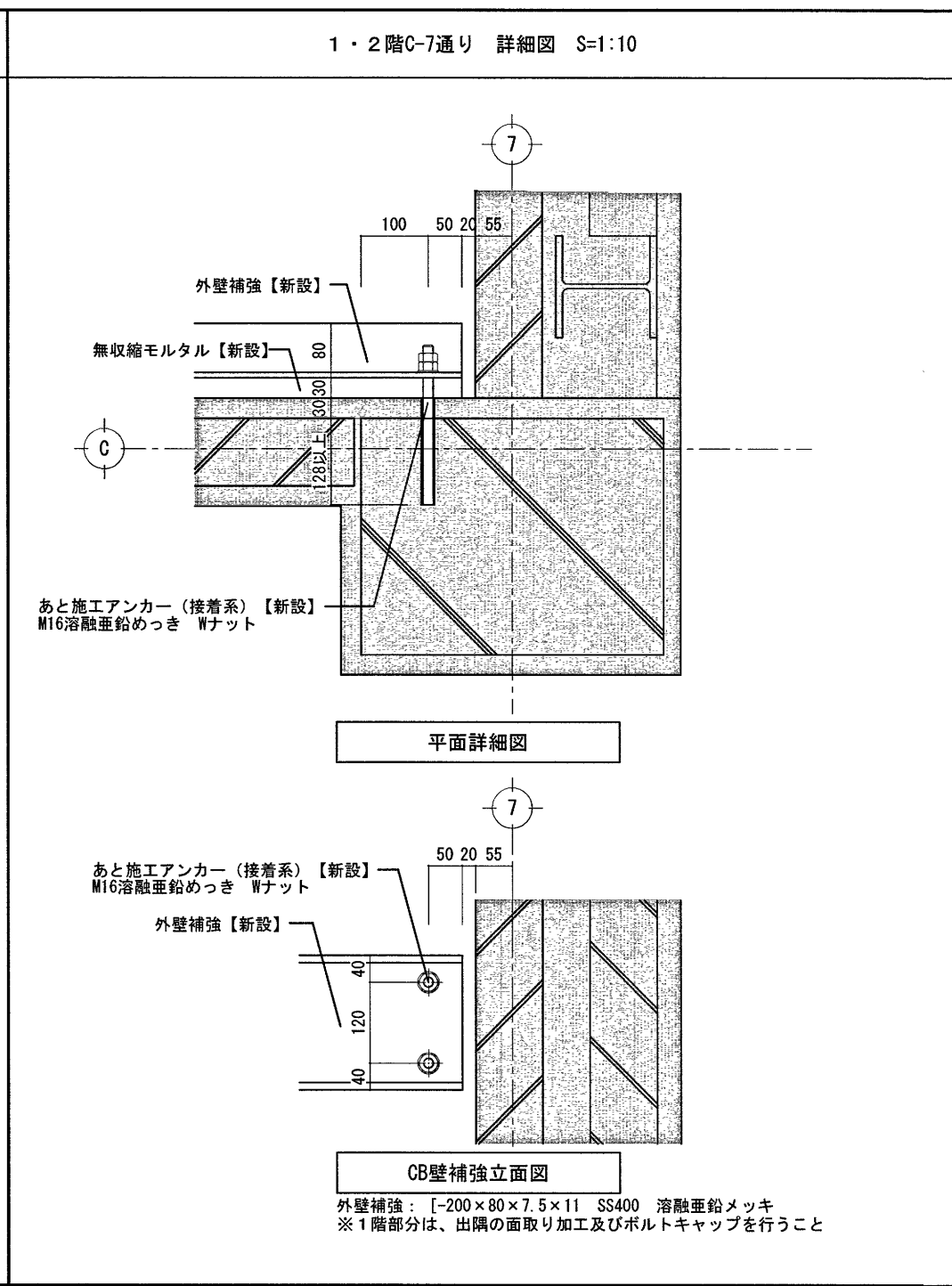
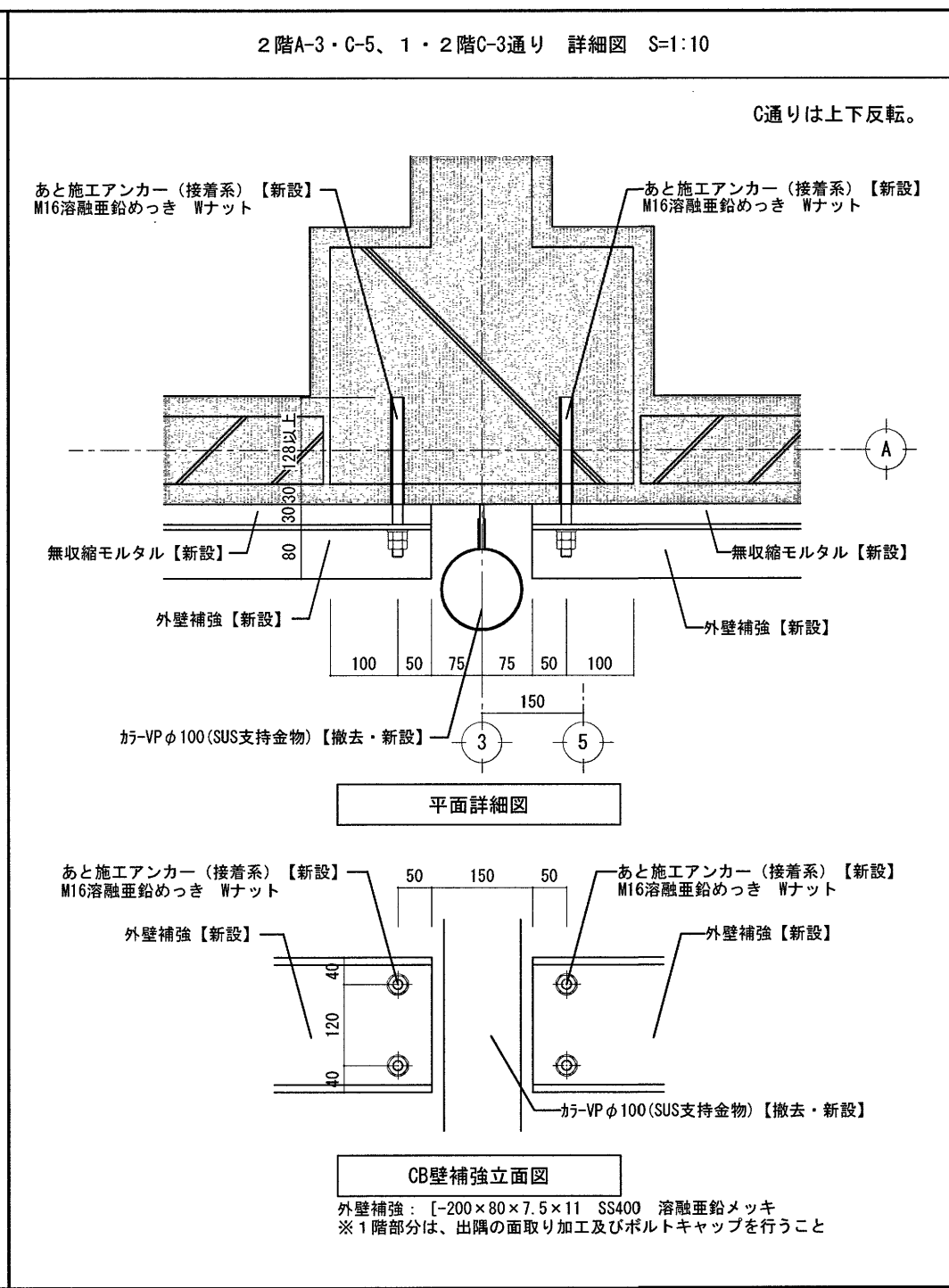
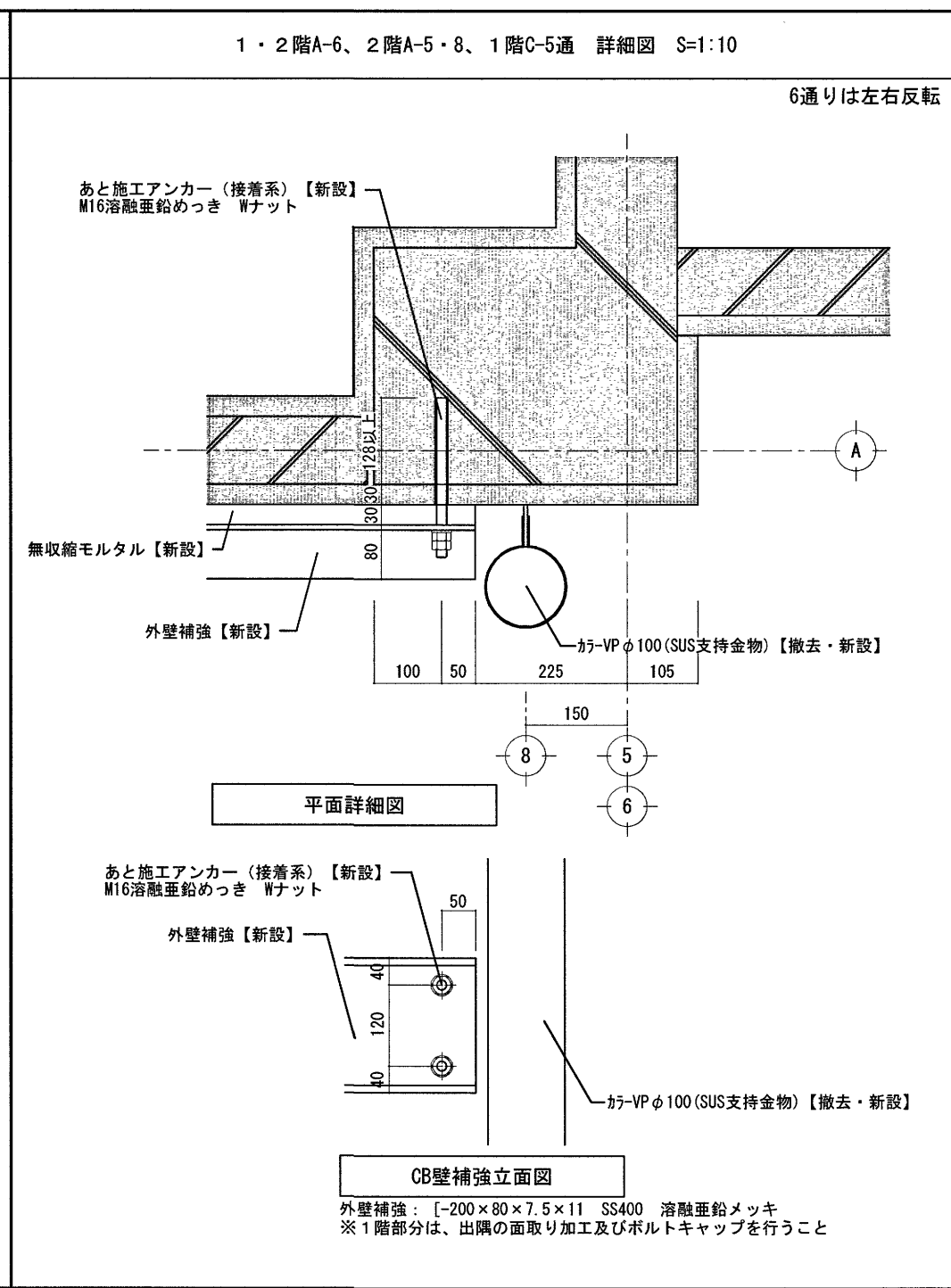
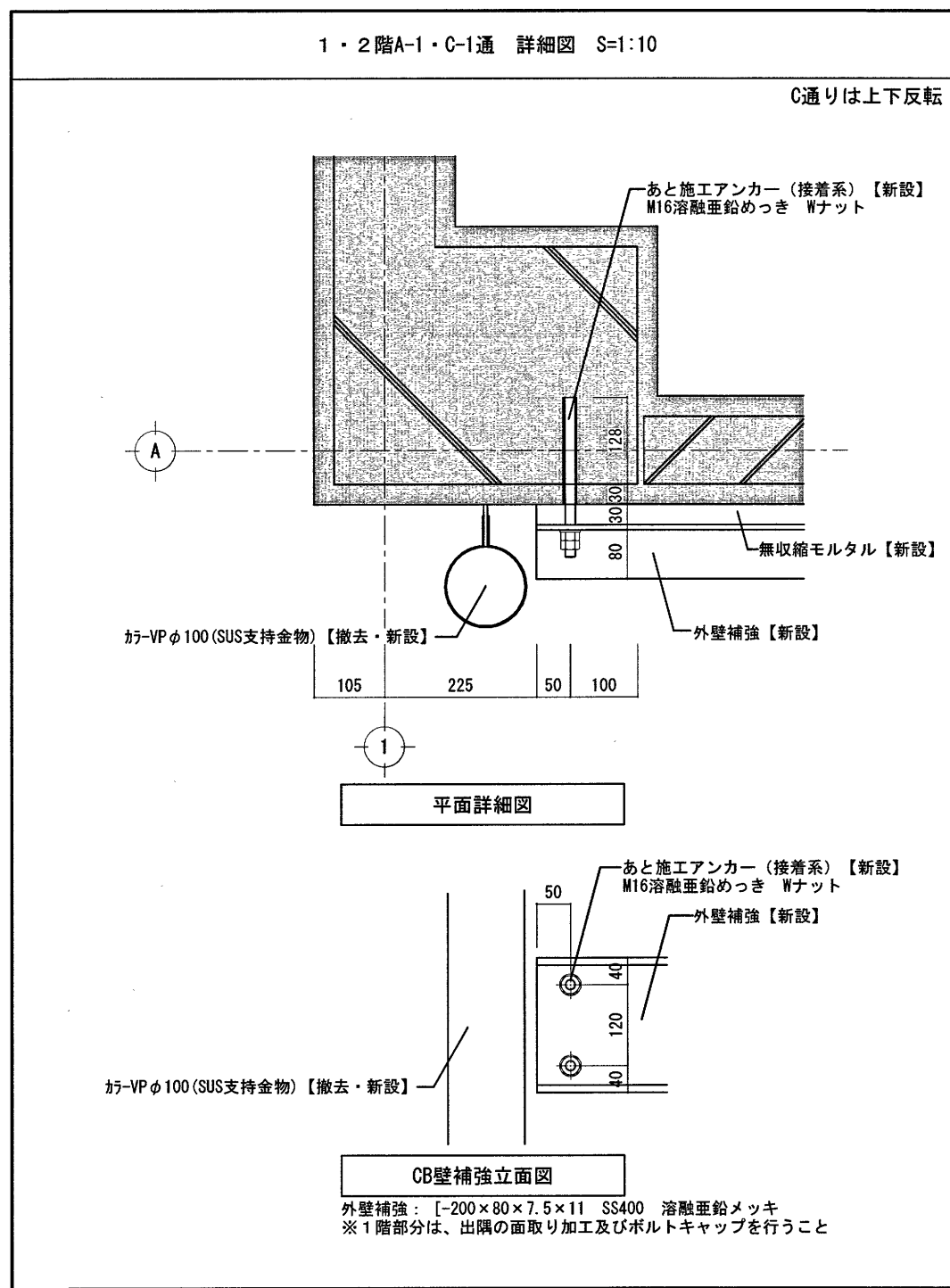


改修後矩計図 S=1:50 φ:シーリング(MS-2)15×10【再充填】を示す。

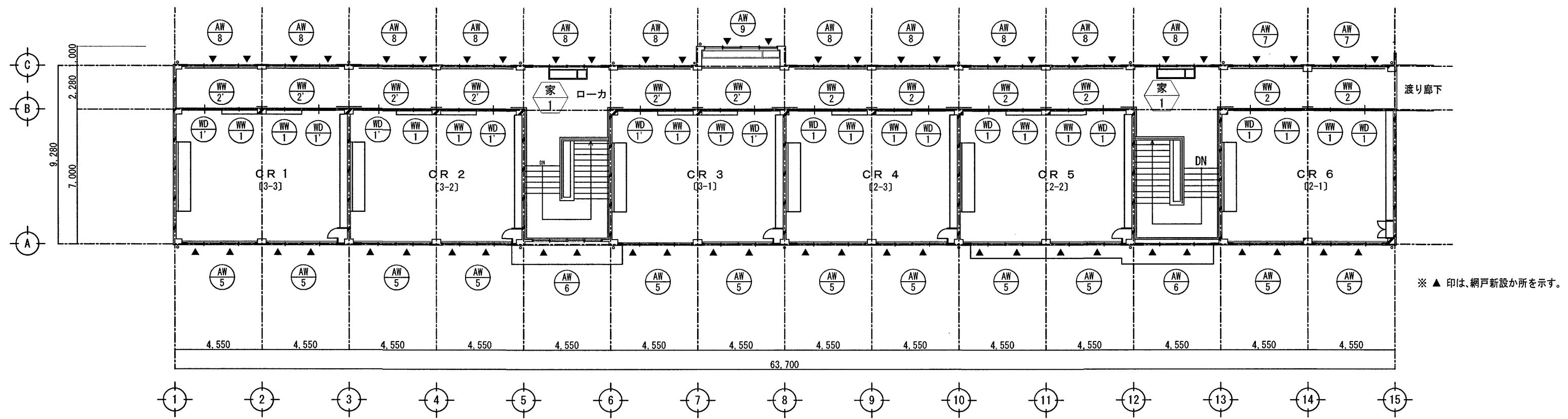
※ 内部改修なし
 ※ 【 】記載なき部分は、既存のままとする

高知市 都市建設部 公共建築課

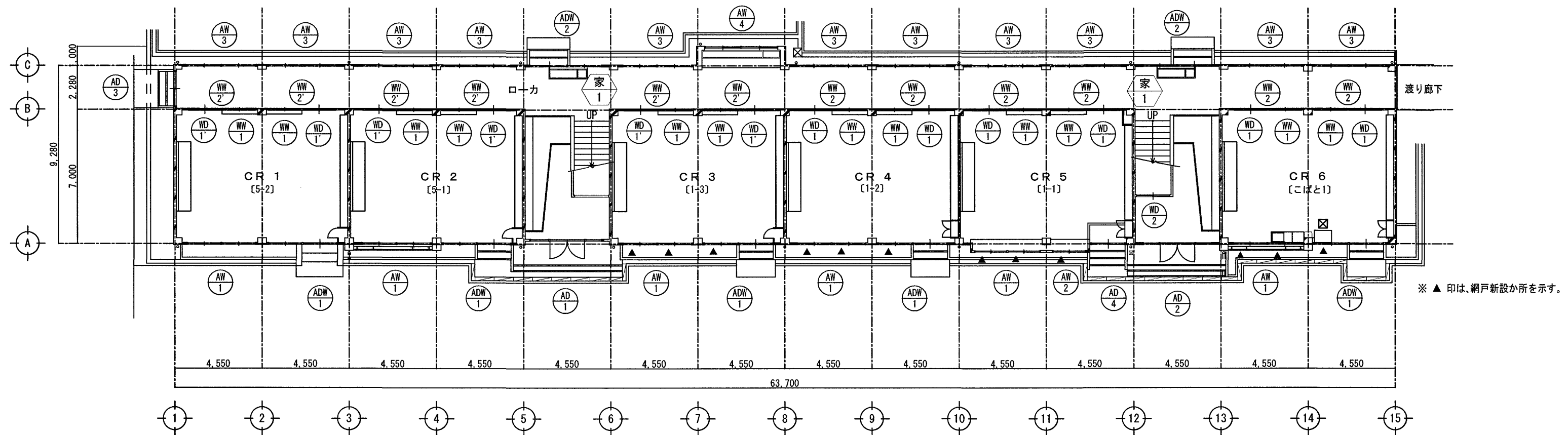
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事					AN-04
図面名	縮尺	図示	作図	2026年 4月 日	
【西舎】矩計図					



※ 内部改修なし
 ※ 【 】記載なき部分は、既存のままとする
 ※ 新設鉄部は全てDP塗【新設】とする



2階平面図 S=1:200



1階平面図 S=1:200

参考図

高知市都市建設部公共建築課				工事名称 高知市立第四小学校西舎耐震補強工事				日付 H24.11		依光建築設計事務所	
係 係長 課長補佐 課長				意匠図 建具案内図・家具案内図				縮尺 1/200		図面番号 A-36	
								担当		一級建築士事務所 高知県知事登録第667号 一級建築士 大臣登録第181002号 依光成元	
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事				係 係長 課長補佐 課長		図面番号 AN-06	
				図面名 【西舎】建具案内図(参考図)				縮尺 図示		作図 2026年 4月 日	

符号・室名・数量	AD 1 1階 西昇降所	AD 2 1階 東昇降所	AD 3 1階 廊下	AD 4 1階 CR5																																								
窓 図																																												
材種・型式・見込	アルミ複層付両袖F1X両開き戸 見込み:70	アルミ複層付両袖F1X両開き戸 見込み:70	アルミ引き違い戸 見込み:70	アルミ複層付引き違い戸 見込み:70																																								
改修内容	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>縦間:フロート t=3.0</td><td>縦間:学校用強化ガラス t=4.0</td></tr> <tr><td>縦間以外:フロート t=5</td><td>縦間以外:強化ガラス t=5</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	縦間:フロート t=3.0	縦間:学校用強化ガラス t=4.0	縦間以外:フロート t=5	縦間以外:強化ガラス t=5	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>縦間:フロート t=3.0</td><td>縦間:学校用強化ガラス t=4.0</td></tr> <tr><td>縦間以外:フロート t=5</td><td>縦間以外:強化ガラス t=5</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	縦間:フロート t=3.0	縦間:学校用強化ガラス t=4.0	縦間以外:フロート t=5	縦間以外:強化ガラス t=5	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>フロート t=5.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> <tr><td>暖アルミパネル 存置</td><td>暖アルミパネル 存置</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	フロート t=5.0	学校用強化ガラス t=4.0	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設	暖アルミパネル 存置	暖アルミパネル 存置	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>縦間:フロート t=3.0 下部:フロート t=5.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> <tr><td>暖アルミパネル 存置</td><td>暖アルミパネル 存置</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	縦間:フロート t=3.0 下部:フロート t=5.0	学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設	暖アルミパネル 存置	暖アルミパネル 存置
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
縦間:フロート t=3.0	縦間:学校用強化ガラス t=4.0																																											
縦間以外:フロート t=5	縦間以外:強化ガラス t=5																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
縦間:フロート t=3.0	縦間:学校用強化ガラス t=4.0																																											
縦間以外:フロート t=5	縦間以外:強化ガラス t=5																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
フロート t=5.0	学校用強化ガラス t=4.0																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											
暖アルミパネル 存置	暖アルミパネル 存置																																											
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
縦間:フロート t=3.0 下部:フロート t=5.0	学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											
暖アルミパネル 存置	暖アルミパネル 存置																																											
符号・室名・数量	AD 1 CR1,2,3,4,6	AD 2 1階 廊下	AD 3 1階 CR1~CR6	AD 4 1階 CR5																																								
窓 図																																												
材種・型式・見込	アルミ複層付引き違い窓・引き違い戸 見込み:70	アルミ複層付引き違い窓・引き違い戸 見込み:70	アルミ複層付2連引き違い窓 見込み:70	アルミ複層付引き違い窓 見込み:70																																								
改修内容	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>縦間:フロート t=3.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0 (CR6の障子1枚のみ7&3in 枠t=3)</td></tr> <tr><td>縦間以外:フロート t=5 t=3.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	縦間:フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0 (CR6の障子1枚のみ7&3in 枠t=3)	縦間以外:フロート t=5 t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>縦間:フロート t=3.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0</td></tr> <tr><td>縦間以外:フロート t=5 t=3.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	縦間:フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0	縦間以外:フロート t=5 t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>フロート t=3.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>(CR6の障子1枚のみ7&3in 枠t=3)</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)	ガラス押エ:シーリング撤去	(CR6の障子1枚のみ7&3in 枠t=3)	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>フロート t=3.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設		
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
縦間:フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0 (CR6の障子1枚のみ7&3in 枠t=3)																																											
縦間以外:フロート t=5 t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
縦間:フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0																																											
縦間以外:フロート t=5 t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	(CR6の障子1枚のみ7&3in 枠t=3)																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											
符号・室名・数量	AD 3 1階 廊下	AD 4 1階 廊下(手洗い部分)	AD 5 2階 CR1~CR6	AD 6 階段																																								
窓 図																																												
材種・型式・見込	アルミ2連引き違い窓 見込み:70	アルミ2連引き違い窓 見込み:70	アルミ複層付2連引き違い窓 見込み:70	アルミ2段2連引き違い窓 見込み:70																																								
改修内容	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>フロート t=3.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>フロート t=3.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>フロート t=3.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】</td><td>【ガラス新設】</td></tr> <tr><td>フロート t=3.0</td><td>学校用強化ガラス t=4.0</td></tr> <tr><td>ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>	改修前	改修後	【ガラス撤去】	【ガラス新設】	フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0	ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設								
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0(縦間共)																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											
改修前	改修後																																											
【ガラス撤去】	【ガラス新設】																																											
フロート t=3.0	学校用強化ガラス t=4.0																																											
ガラス押エ:シーリング撤去	ガラス押エ:シーリング新設																																											

高知市都市建設部公共建築課	工事名称	日付	依光建築設計事務所
係 係長 課長補佐 課長	高知市立第四小学校西舎耐震補強工事	H24.11	
	意匠図 建具表(1)	縮尺	図面番号 A-37
		担当	一級建築士事務所 高知県知事登録第667号 一級建築士 大臣登録第181002号 依光成元

参考図

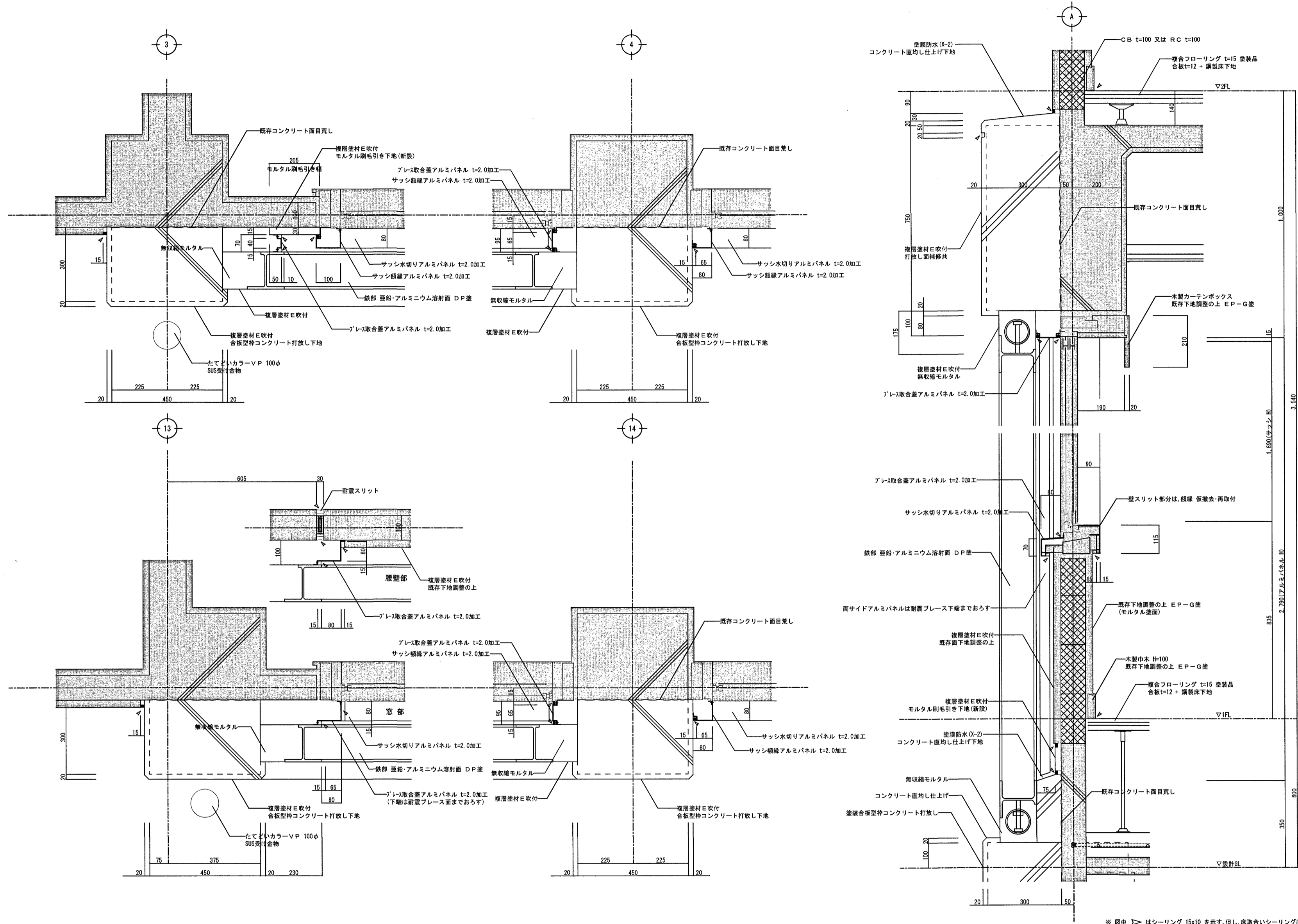
高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事					AN-07
	図面名	縮尺	作図	2026年 4月 日		
	【西舎】建具表(1)《参考図》					

符号・室名・数量	AN 2階廊下	1F	2F	2	合計	2	AN 8 2階廊下	1F	2F	11	合計	11	AN 9 2階廊下(手洗い部分)	1F	2F	1	合計	1												
図																														
材種・型式・見込	アルミ横開付2連引き違い窓 見込み:70			アルミ2連引き違い窓 見込み:70			アルミ2連引き違い窓 見込み:70																							
改修内容	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】 フロート t=3.0 ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0(縦開付) ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>			改修前	改修後	【ガラス撤去】 フロート t=3.0 ガラス押エ:シーリング撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0(縦開付) ガラス押エ:シーリング新設	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】 フロート t=3.0 ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>			改修前	改修後	【ガラス撤去】 フロート t=3.0 ガラス押エ:シーリング撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 ガラス押エ:シーリング新設	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】 フロート t=3.0 ガラス押エ:シーリング撤去</td><td>【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 ガラス押エ:シーリング新設</td></tr> </table>			改修前	改修後	【ガラス撤去】 フロート t=3.0 ガラス押エ:シーリング撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 ガラス押エ:シーリング新設									
改修前	改修後																													
【ガラス撤去】 フロート t=3.0 ガラス押エ:シーリング撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0(縦開付) ガラス押エ:シーリング新設																													
改修前	改修後																													
【ガラス撤去】 フロート t=3.0 ガラス押エ:シーリング撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 ガラス押エ:シーリング新設																													
改修前	改修後																													
【ガラス撤去】 フロート t=3.0 ガラス押エ:シーリング撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 ガラス押エ:シーリング新設																													
符号・室名・数量	1階・2階 CR4~CR6	1階・2階 CR1~CR3	建具新設			1F	2F	11	合計	11	1階昇降所	1F	2F	1	合計	1														
図																														
材種・型式・見込	引き違い戸 枠:150 建具:30			引き違い戸 枠:100 建具:30																										
改修内容	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製引き違い戸撤去(フロート t=2.0共)</td><td>ガラス:学校用強化型板ガラス t=4.0 塗装:EP-G塗 金物:ステンレスレールφ100, フラッター用戸車, 舟形引手, 引き戸錠</td></tr> </table>			改修前	改修後	【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製引き違い戸撤去(フロート t=2.0共)	ガラス:学校用強化型板ガラス t=4.0 塗装:EP-G塗 金物:ステンレスレールφ100, フラッター用戸車, 舟形引手, 引き戸錠	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去</td><td>【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗</td></tr> </table>			改修前	改修後	【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去</td><td>【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗</td></tr> </table>			改修前	改修後	【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗									
改修前	改修後																													
【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製引き違い戸撤去(フロート t=2.0共)	ガラス:学校用強化型板ガラス t=4.0 塗装:EP-G塗 金物:ステンレスレールφ100, フラッター用戸車, 舟形引手, 引き戸錠																													
改修前	改修後																													
【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗																													
改修前	改修後																													
【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗																													
符号・室名・数量	1階・2階 CR1~CR6	1階・2階 CR4~CR6	1F	2F	12	合計	24	1階・2階 CR1~CR3	1F	2F	1	合計	1	1階・2階 CR1~CR3	1F	2F	1	合計	1											
図																														
材種・型式・見込	引き違い窓 枠:100 建具:30			横開引き違い窓 枠:100 建具:30																										
改修内容	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去</td><td>【ガラス新設】 学校用強化型板ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗</td></tr> </table>			改修前	改修後	【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去	【ガラス新設】 学校用強化型板ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去</td><td>【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗</td></tr> </table>			改修前	改修後	【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗	<table border="1"> <tr><th>改修前</th><th>改修後</th></tr> <tr><td>【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去</td><td>【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗</td></tr> </table>			改修前	改修後	【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗									
改修前	改修後																													
【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去	【ガラス新設】 学校用強化型板ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗																													
改修前	改修後																													
【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗																													
改修前	改修後																													
【ガラス撤去】 フロート t=2.0 木製ガラス押エ機木撤去	【ガラス新設】 学校用強化ガラス t=4.0 建具及び枠廻り:既存下地調整の上EP-G塗																													

高知市都市建設部 公共建築課	工事名称	高知市立第四小学校西舎耐震補強工事	日付	H24.11	依光建築設計事務所
係 係長 課長補佐 課長	意匠図	建具表(2)	縮尺	図面番号 A-38	一級建築士事務所 高知県知事登録第67号 一級建築士 大臣登録第181002号 依光成元

参考図

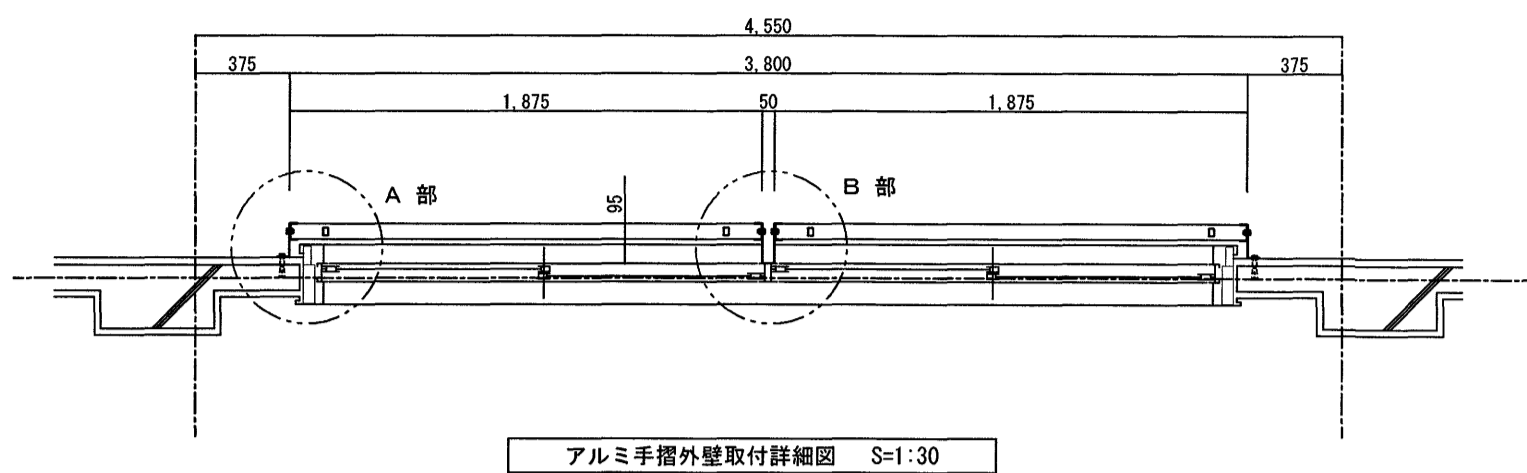
高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号	AN-08
	図面名	【西舎】建具表(2)《参考図》	縮尺	作図	2026年	4月	日	



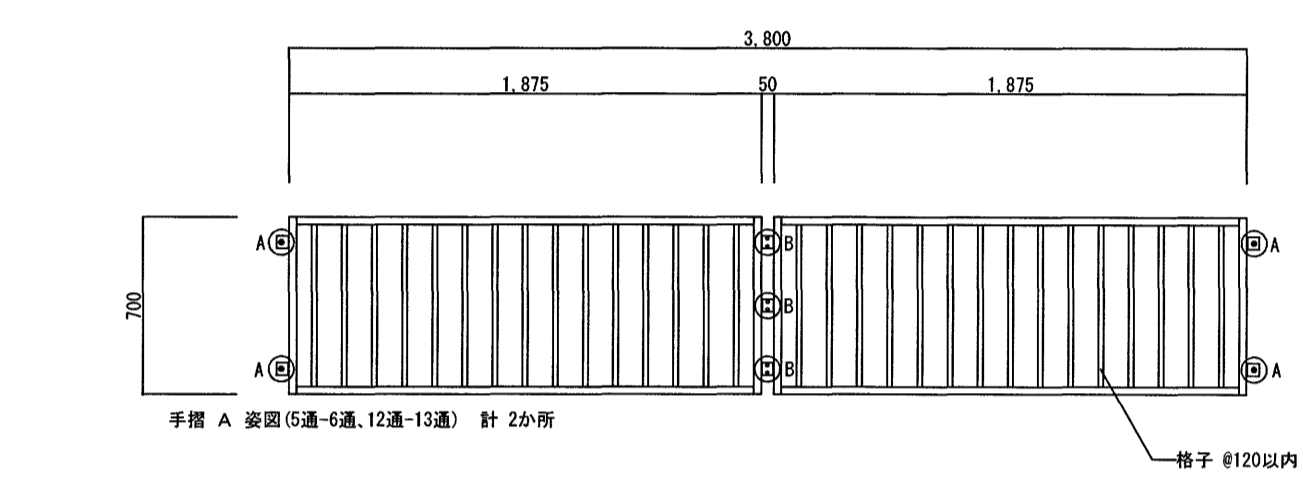
高知市都市建設部公共建築課				工事名称	高知市立第四小学校西舎耐震補強工事	日付	H24.11	依光建築設計事務所	
係	係長	課長補佐	課長	意匠図	耐震ブレース廻り詳細図(改修後)	縮尺	1/10	図面番号	A-32
							担当	一級建築士事務所 高知県知事登録第667号 一級建築士 大臣登録第181002号 依光成元	

参考図

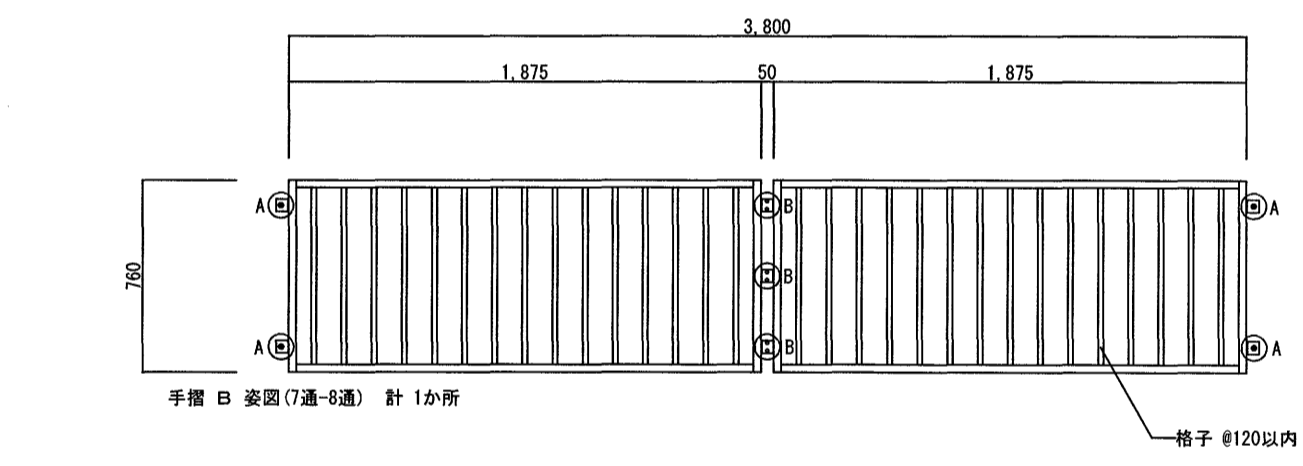
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				図面名	【西舎】耐震ブレース廻り詳細図《参考図》	縮尺	作図 2026年 4月 日			AN-09



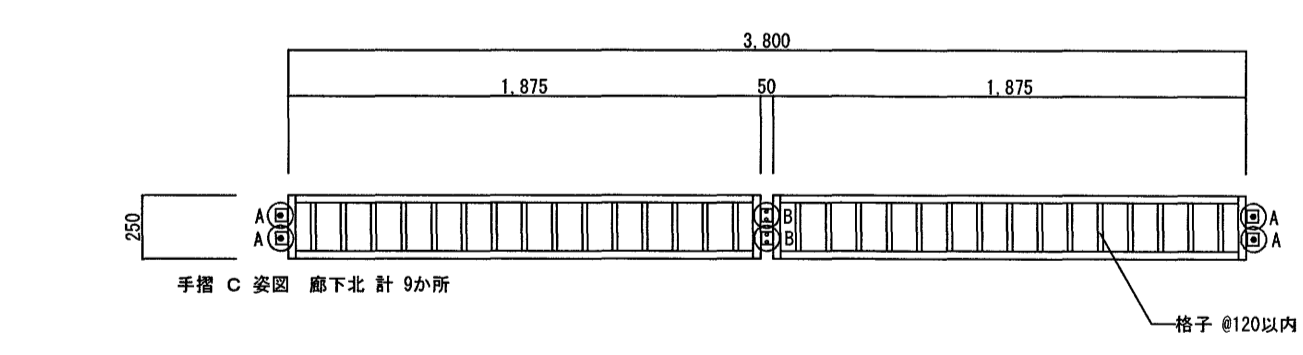
アルミ手摺外壁取付詳細図 S=1:30



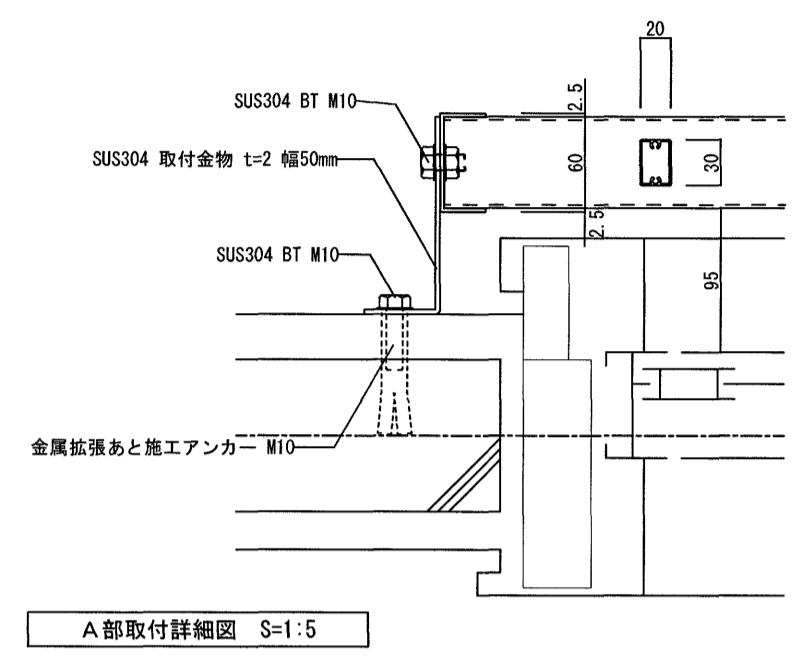
手摺 A 姿図 (5通-6通、12通-13通) 計 2か所



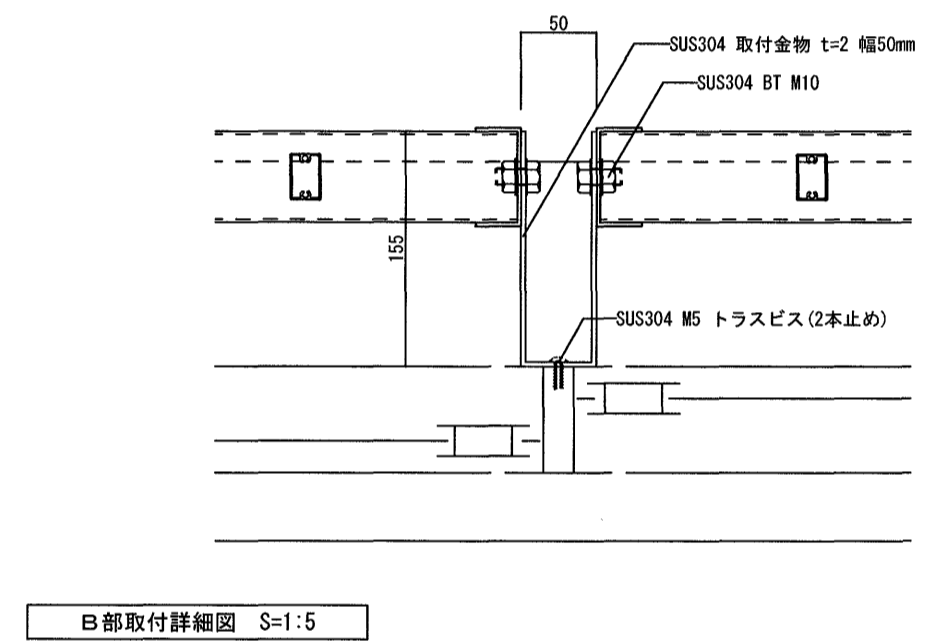
手摺 B 姿図 (7通-8通) 計 1か所



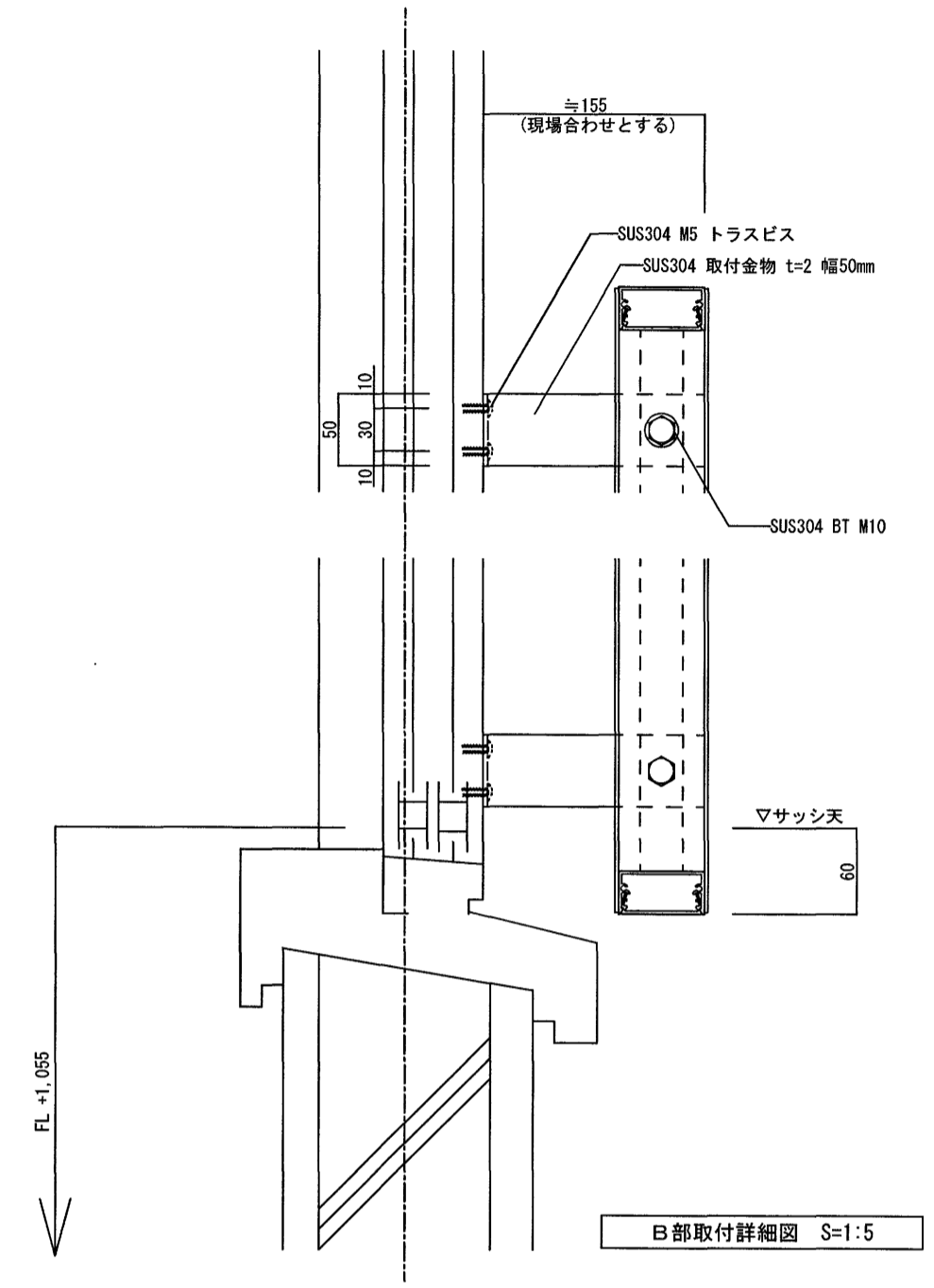
手摺 C 姿図 廊下北 計 9か所



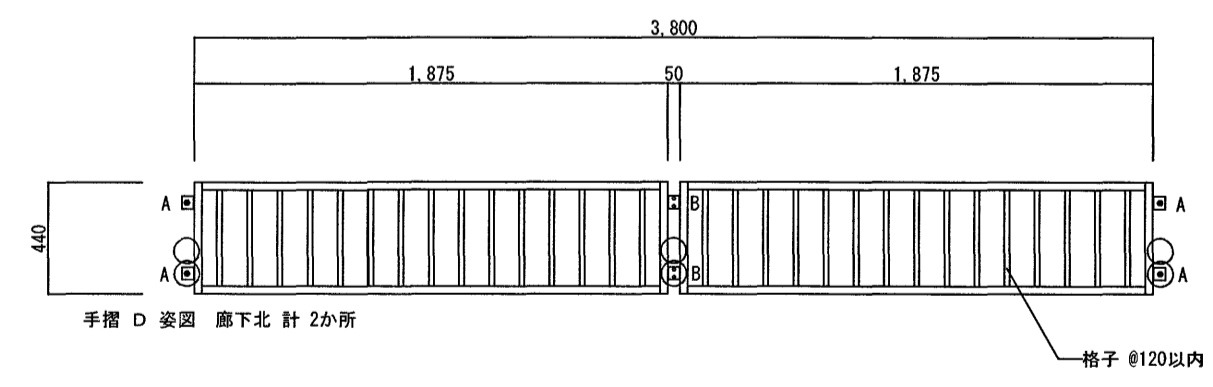
A部取付詳細図 S=1:5



B部取付詳細図 S=1:5



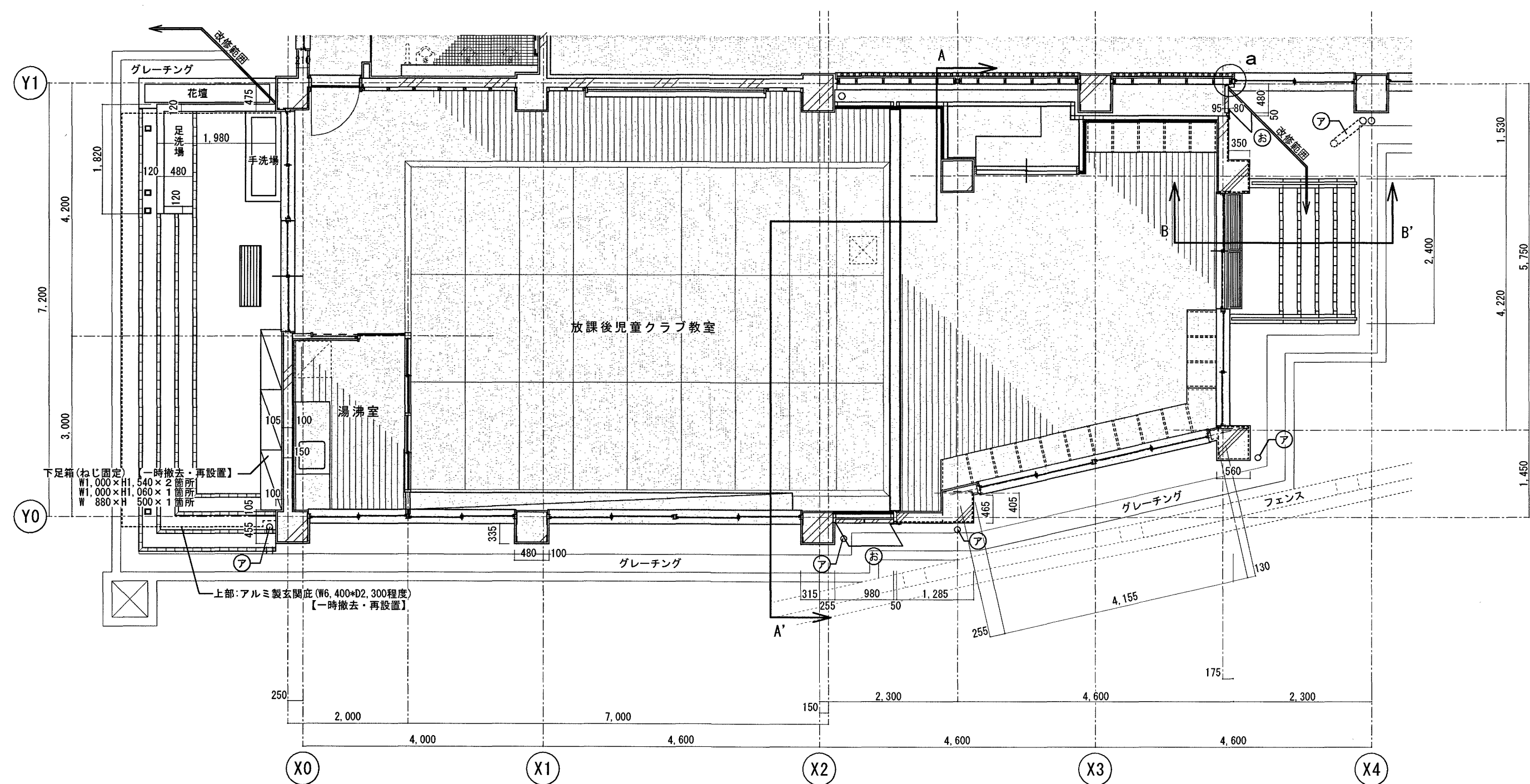
B部取付詳細図 S=1:5



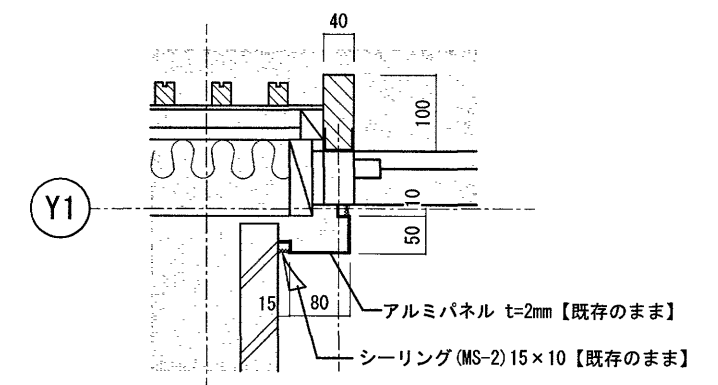
手摺 D 姿図 廊下北 計 2か所

参考図

高知市都市建設部公共建築課				工事名称 高知市立第四小学校西舎耐震補強工事				日付 H24.11		依光建築設計事務所											
係長		課長補佐		課長		意匠図		外部手摺詳細図		縮尺 1/10, 1/5		図面番号 A-33		担当							
高知市 都市建設部 公共建築課										工事名 第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事				係長		課長補佐		課長		図面番号 AN-10	
										【西舎】外部手摺詳細図 (参考図)		縮尺 図示		作図 2026年 4月 日							



平面詳細図 S=1:70



a部詳細図 S=1:10

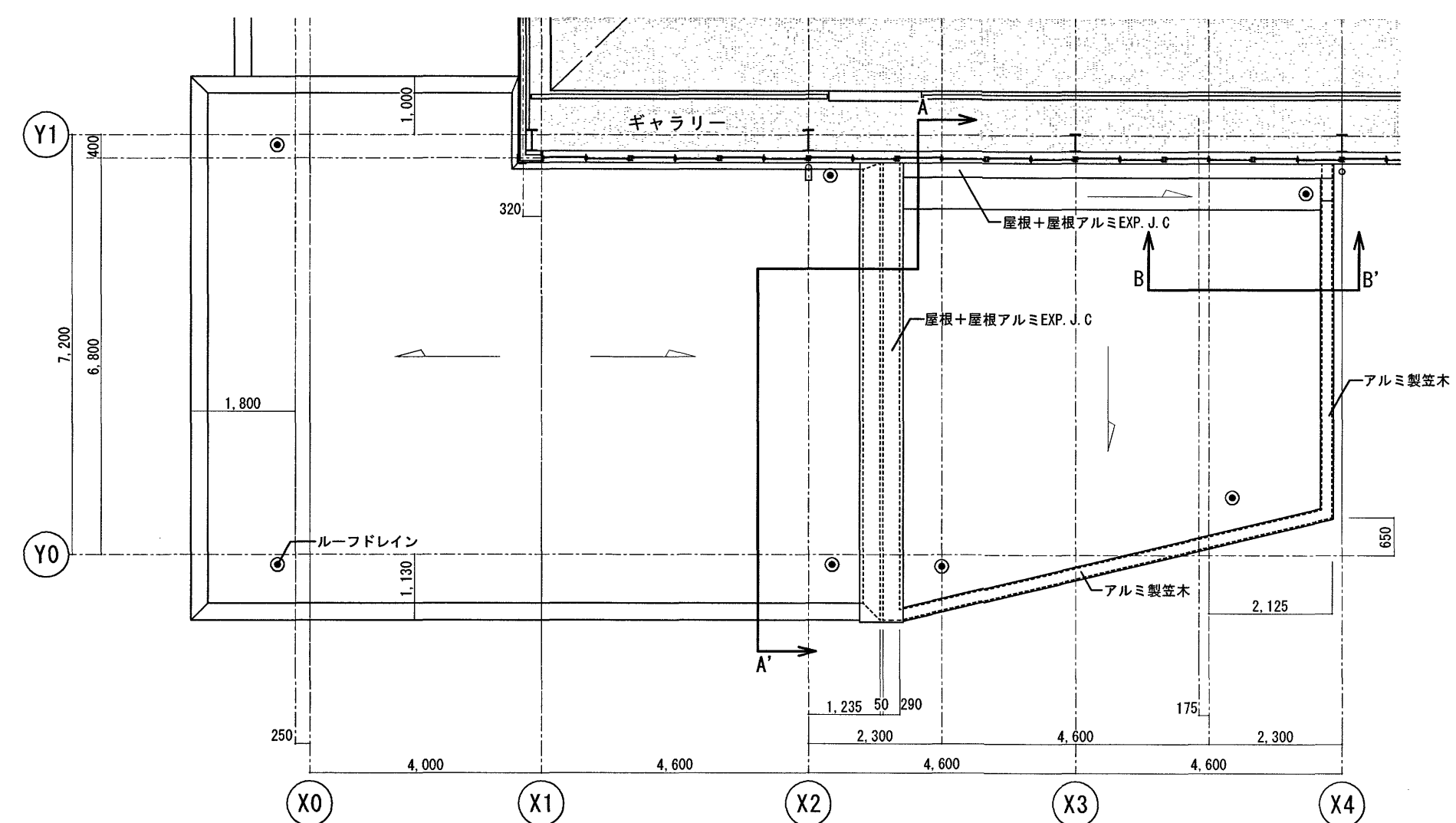
《劣化改修表》

仕上げ	損傷内容	工法	予定数量
タタキ	ひび割れ (0.2以上1.0mm未満)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	5.0 m
タタキ	ひび割れ (1.0mm超え)	Uカットシール材充填工法	1.0 m
タタキ	浮き (一般部)	注入口付アクリル樹脂 全面塗 樹脂注入工法	1.0 m ²
タタキ	浮き (指定部)	注入口付アクリル樹脂 全面塗 樹脂注入工法	1.0 m ²

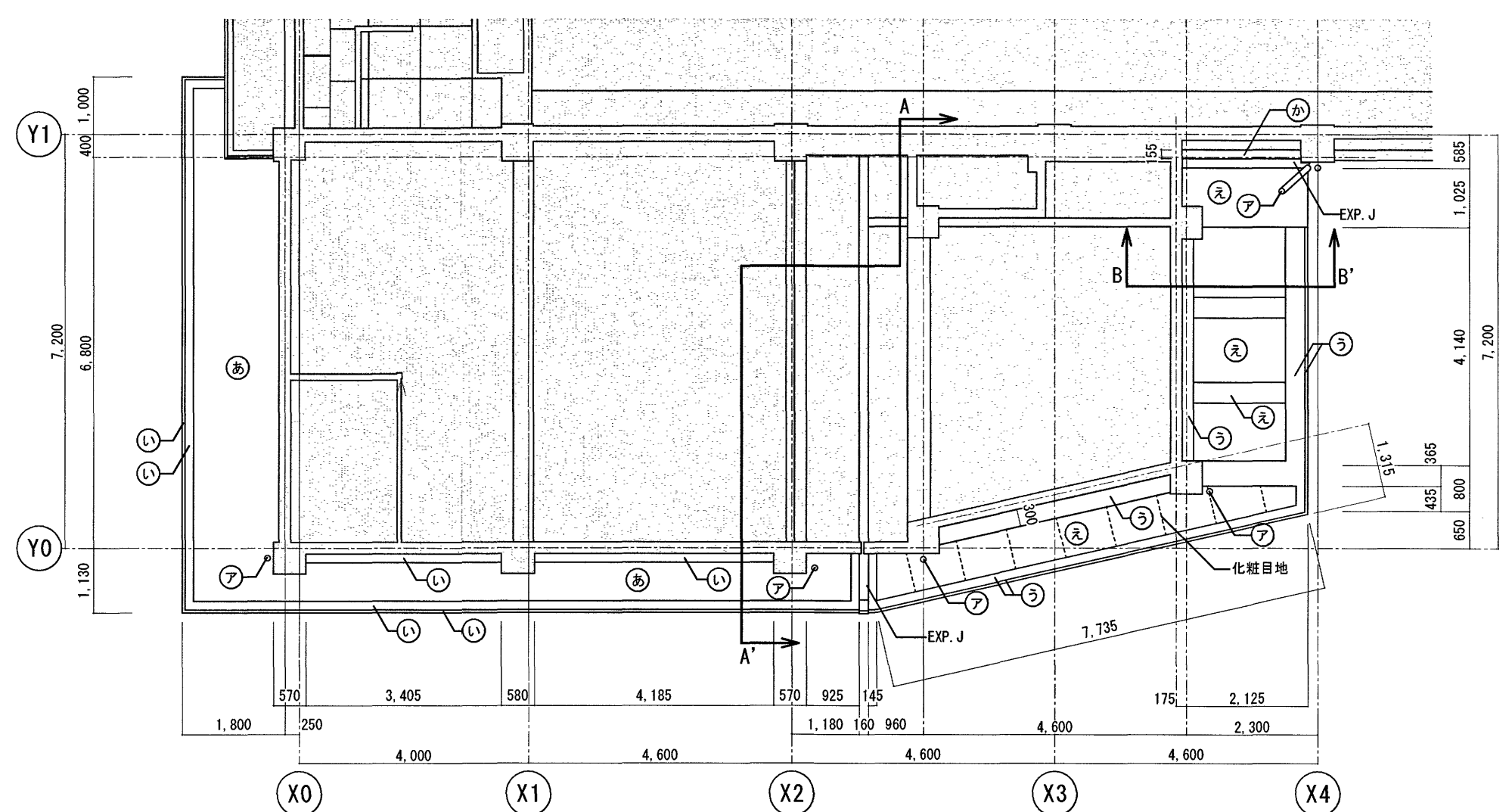
※ 数量及び工法は予定で、施工数量調査の結果により変更する。

《改修仕上表》

記号	改修前	改修後
㊸	タタキ下地 アクリル吹付	水洗い + 劣化改修 + 外装薄塗材E吹付【改修】
㊹	タタキ下地 アクリル吹付	水洗い + 劣化改修 + 下地調整 + 複層塗材E吹付【改修】
㊺	タタキ下地 外装薄塗材E吹付	水洗い + 劣化改修 + 複層塗材E吹付【改修】
㊻	タタキ下地 外装薄塗材E吹付	水洗い + 劣化改修 + 外装薄塗材E吹付【改修】
㊼	押出成形セメント板下地 外装薄塗材E	水洗い + 下地調整 + 複層塗材E吹付【改修】
㊽	軽量鉄骨天井下地 けい酸カルシウム板t=6 外装薄塗材E	外装薄塗材E吹付【改修】
㊾	VPφ100 OP塗 (SUS支持金物)【撤去】	φ75-VPφ100 (SUSとい受け金物)【新設】



屋根伏図 S=1:100
※防水改修無し

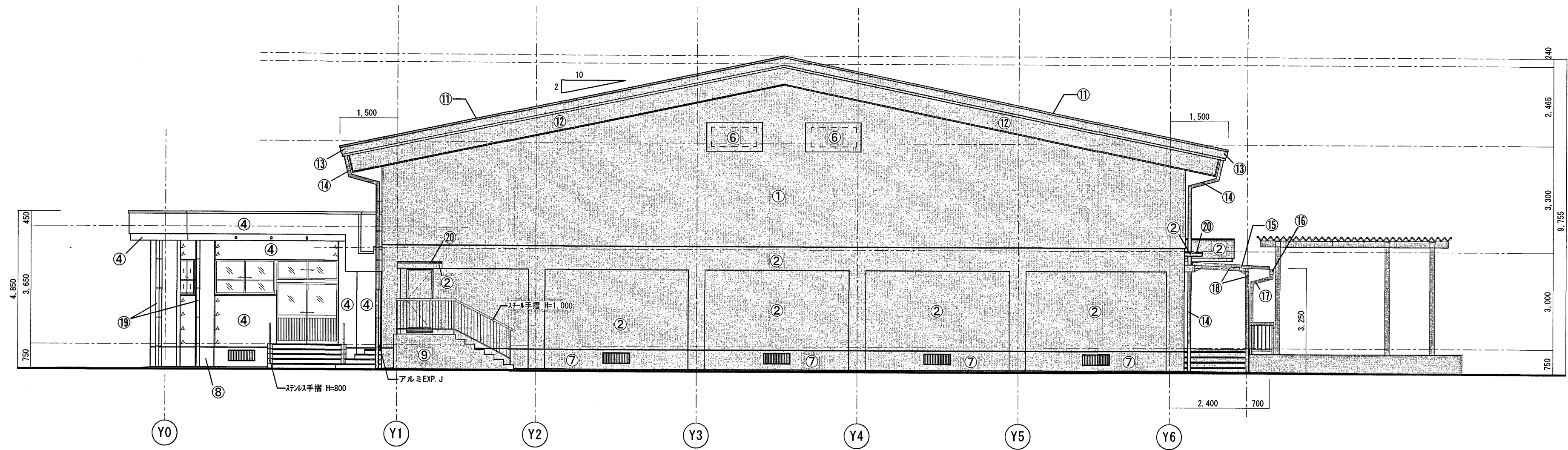


天井伏図 S=1:100

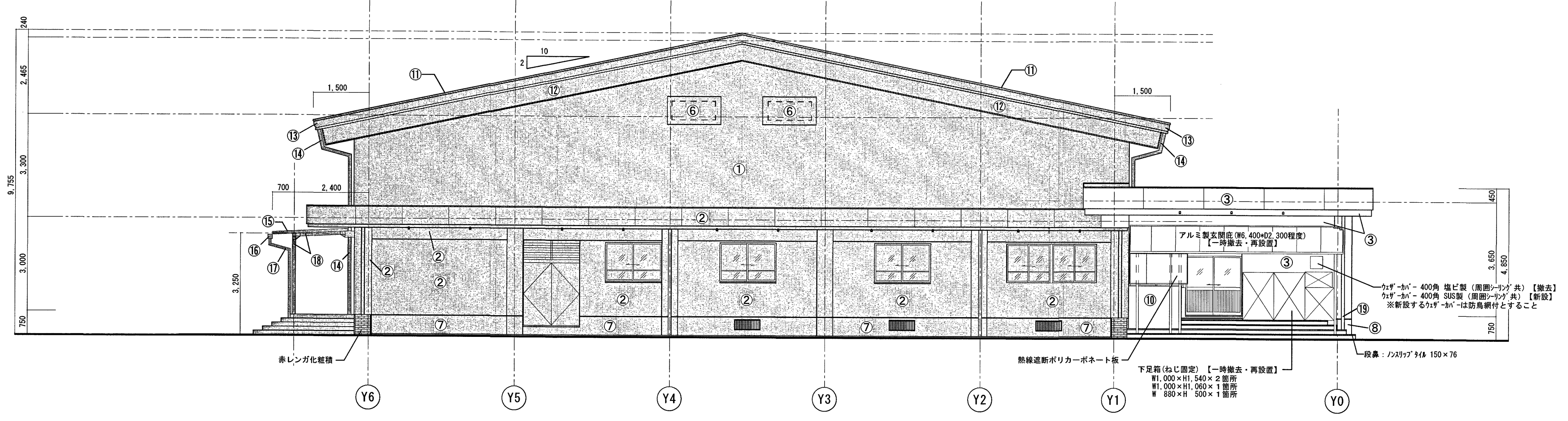
※ 内部改修なし
※ 【 】記載なき部分は、既存のままとする

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事					A0-01
図面名	縮尺		作図	2026年	4月
【屋内運動場】平面図、屋根伏図、天井伏図	S=1/10, 70, 100				



東面立面図 S=1:100



西面立面図 S=1:100

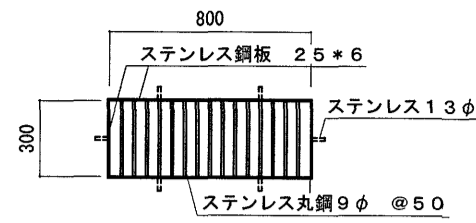
仕上表

記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後
①	外壁	サイディング t=0.5 PB12.5下地 DP塗	—	⑥	外壁	7&M37-ハ 積 t=2.0	—	⑪	屋根	折板 メッキ鋼板 t=0.8 H=150	—	⑮	(下屋) 軒樋	塩ビ前高120	—
②	外壁	タタキ下地 777777吹付の上 複層塗材E	—	⑦	根巻き	タタキ刷毛引	—	⑫	ケラバ	3Dスパン t=0.4 PB12.5下地 DP塗	—	⑰	(下屋) 整樋	タ-VPφ100(SUS支持金物)	—
③	外壁	タタキ下地 777777	水洗い + 劣化改修 + 下地調整 + 複層塗材E吹付 【改修】	⑧	根巻き	タタキ刷毛引	水洗い 【改修】	⑬	軒樋	塩ビ前高150	—	⑱	(下屋) 鉄骨	DP塗	—
④	外壁	タタキ下地 外装薄塗材E	水洗い + 劣化改修 + 下地調整 + 複層塗材E吹付 【改修】	⑨	階段	タタキ押え	—	⑭	整樋	タ-VPφ100(SUS支持金物)	—	⑲	(児童クラブ) 整樋	VPφ100 OP塗(SUS支持金物) 【撤去】	タ-VPφ100(SUSとい受け金物) 【新設】
⑤	外壁	押出成形セメント板 t=60下地 外装薄塗材E	水洗い + 下地調整 + 複層塗材E吹付 【改修】	⑩	袖壁	コンクリート打放し仕上げ	水洗い 【改修】	⑮	(下屋) 屋根	3Dスパン t=0.5 H=88 DP塗	—	⑳	防水	防水タタキ押え	—

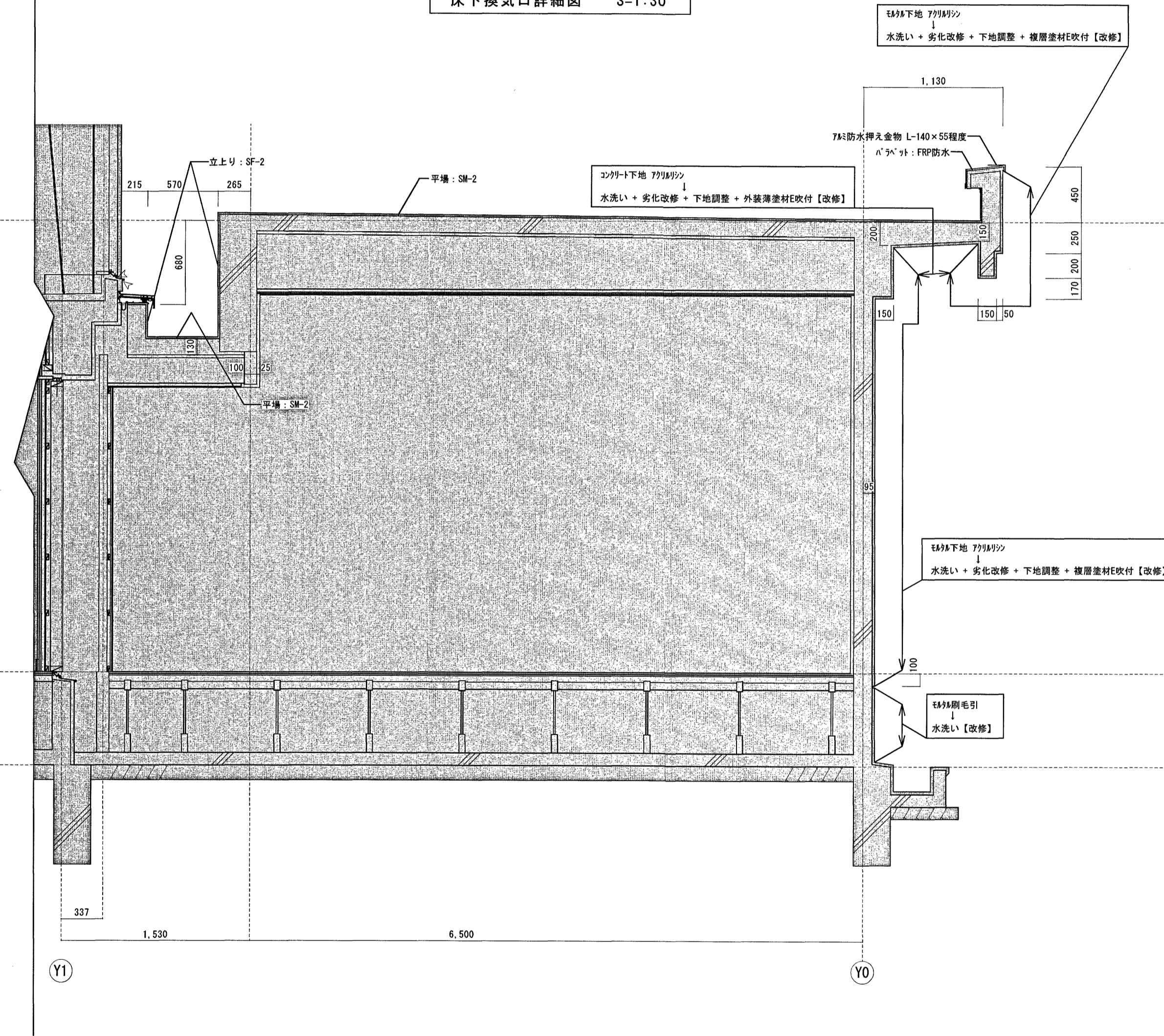
※ 【 】記載なき部分は、既存のままとする

高知市 都市建設部 公共建築課

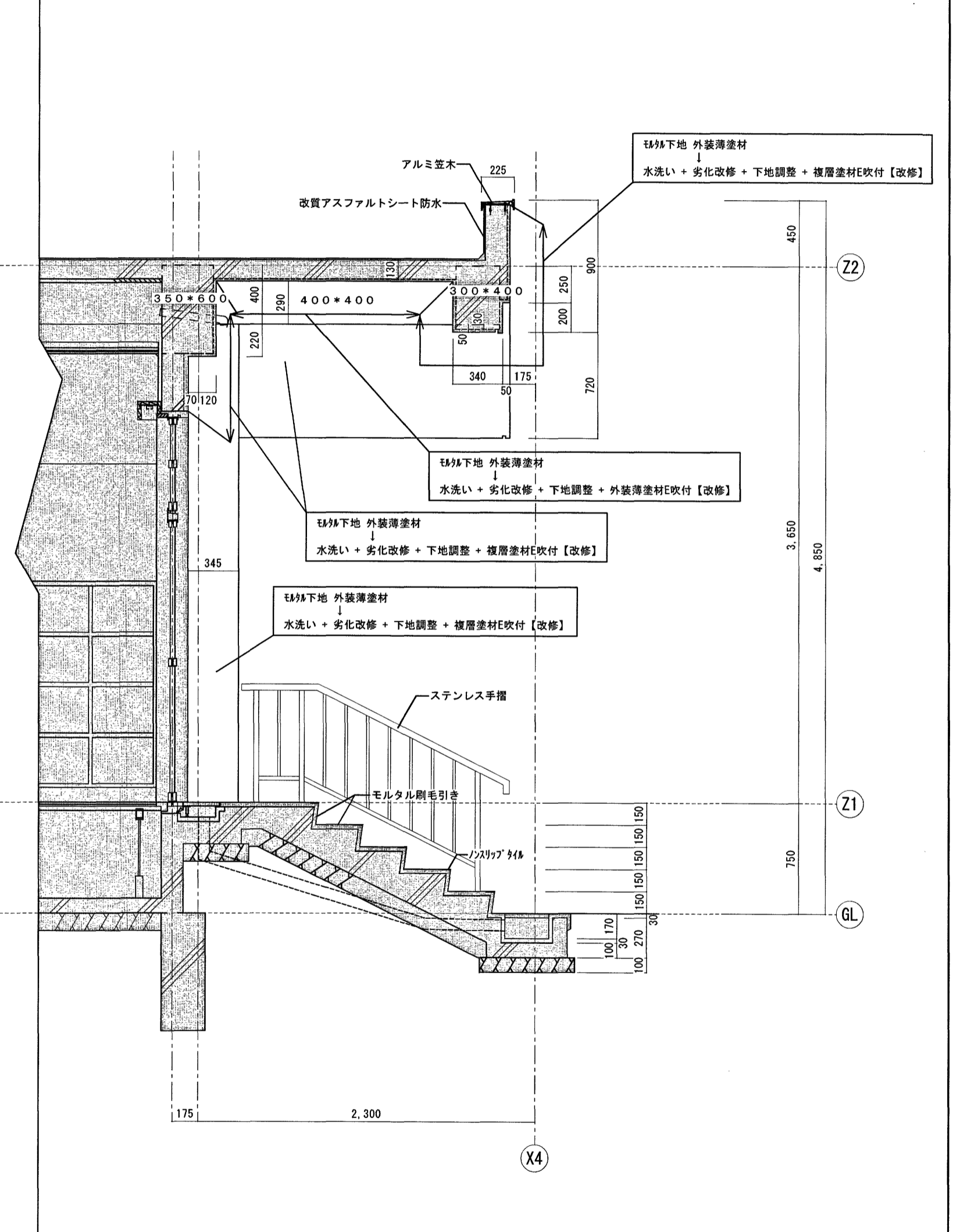
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事					A0-02
図面名	縮尺	作図	年月日		
【屋内運動場】東面立面図、西面立面図	S=1/100	2026年 4月			



床下換気口詳細図 S=1:30



A-A' 矩計図 S=1:30

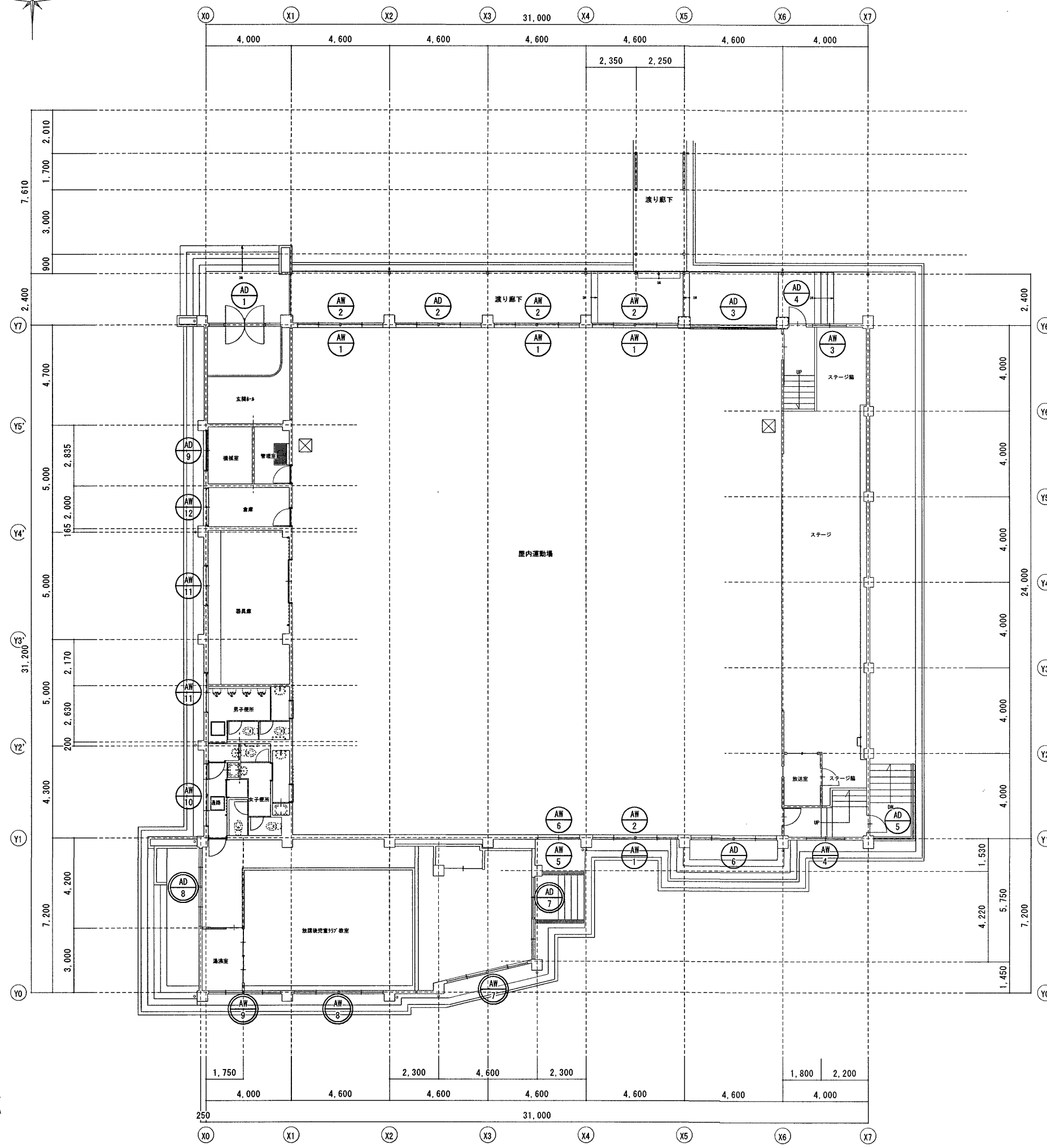
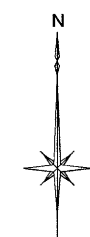


B-B' 矩計図 S=1:30

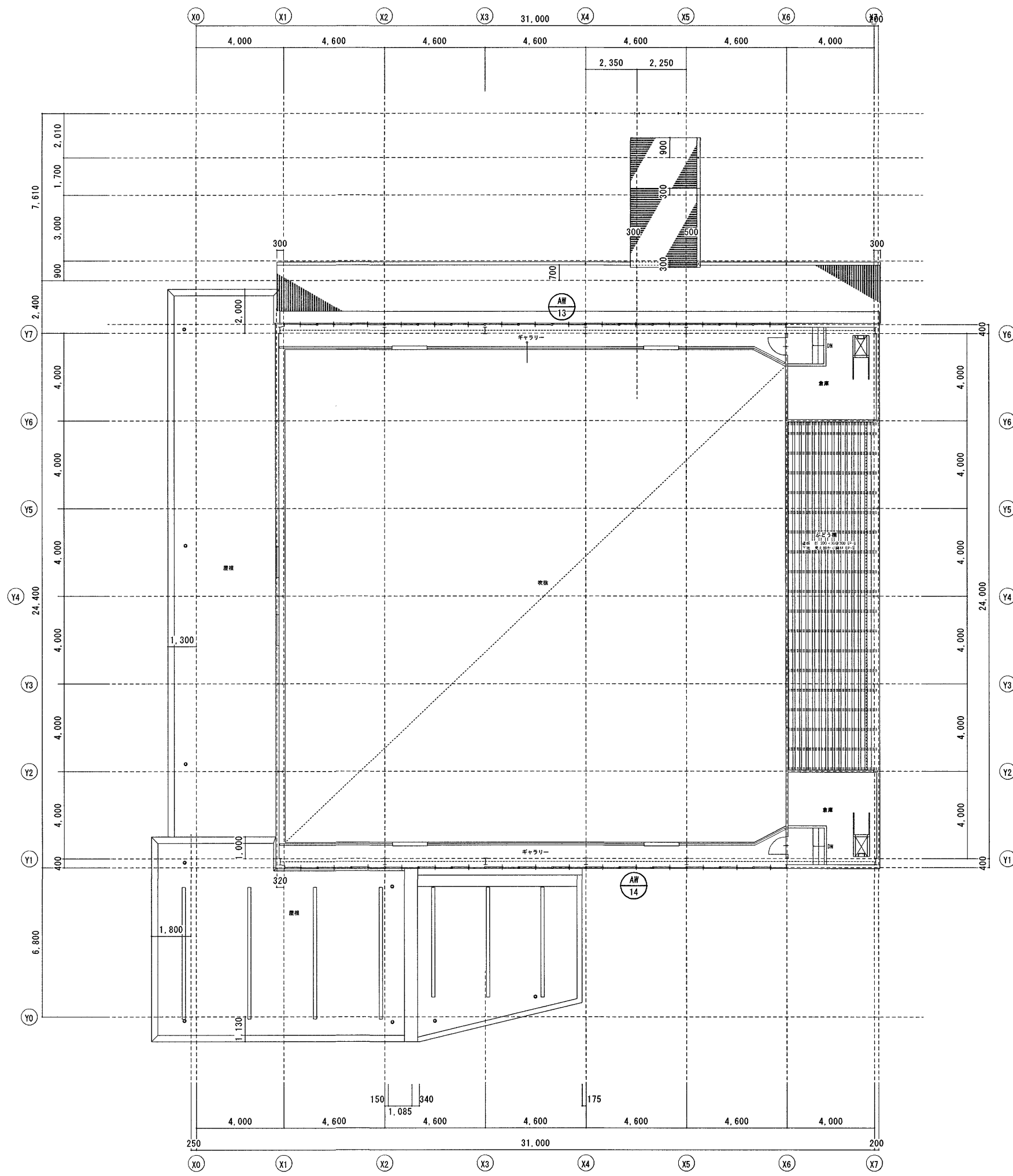
※ 内部改修なし
 ※ 【 】記載なき部分は、既存のままとする

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事					A0-04
図面名	縮尺	作図	2026年	4月	日
【屋内運動場】矩計図	S=1/30				



1階



2階

- ...外壁面既存サッシ廻りシーリング MS-2(15×10) 2重水切り共【撤去・再充填】
- ...【既存のまま】

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事						A0-05
		図面名	縮尺	作図	2026年 4月 日			
		【屋内運動場】建具案内図	S=1/200					

記号・数量	AD 1	AD 2	AD 3	AD 4
形状				
場所	1階 玄関ホール	1階 体育館出入口	1階 体育館出入口	1階 体育館出入口(北)
形式	両開きガラス戸+両袖FIX	2連引違フラッシュ戸	自閉式上吊戸+FIX	片開フラッシュ戸
見込	70mm	同左	同左	同左
材質・仕上	アルミ	同左	同左	同左
硝子	学校用透明強化ガラスt=4	アルミパネルt=3	アルミパネルt=3	アルミパネルt=3
金物	シリンダー錠、フロアヒンジ、ステンレス押棒 φ22 L=600	クレセント、ナイロン下車、船底引手、ステンレス数居水切	引手ハンドル、シリンダー錠、キックプレート、アルミパネル、水切、下枠ステンレスt=1.5	ステンレス丁番、ロック錠、ドアチェック、アルミ水切
備考	アングルピース	同左	同左	同左
記号・数量	AD 5	AD 6	AD 7	AD 8
形状				
場所	1階 体育館出入口(南)	1階 体育館出入口	1階 放課後児童クラブ教室	1階 放課後児童クラブ教室
形式	片開フラッシュ戸	2連引き違い戸(カバー工法)	ランマ付2連引き違い戸	ランマ引違窓 袖2段引き違い窓 2枚引き違い戸
見込	70mm	同左	同左	同左
材質・仕上	アルミ	同左	同左	同左
硝子	アルミパネルt=3	アルミパネルt=3	透明強化ガラスt=4、アルミパネルt=3	透明ガラスt=3、アルミパネルt=3
金物	ステンレス丁番、ロック錠、ドアチェック、アルミ水切	クレセント、戸車、アルミカバー、舟底引手、下枠ステンレス、ステンレス水切	クレセント、戸車、アルミ2重水切、グレーチング受け	クレセント、ステンレス数居水切、アルミ窓台水切
備考	アングルピース	同左	同左	同左
記号・数量	AD 9			
形状				
場所	1階 機械室			
形式	ガラリ付両開き戸+ランマ			
見込	70mm			
材質・仕上	アルミ			
硝子	アルミパネルt=3			
金物	レバーハンドル、シリンダー錠、2重水切、ガラリ固定網戸、SUST番、DC			
備考	アングルピース			

参考図

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	第四小学校西舎・屋内運動場外壁改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	【屋内運動場】建具表(1)《参考図》	縮尺	S=1/50	作図	2026年	4月	日		A0-06

記号・数量	AW1 4箇所	AW2 4箇所	AW3 1箇所	AW4 1箇所
形状				
場所	1階 屋内運動場	同左	同左	同左
形式	2連引き違い窓	同左	引き違い窓	同左
見込	70mm	同左	同左	同左
材質・仕上	アルミ	同左	同左	同左
硝子	学校用透明強化ガラスt=4	同左	同左	同左
金物	クレセント、二重水切	同左	同左	同左
備考	アングルピース	同左	同左	同左
記号・数量	AW5 1箇所	AW6 1箇所	AW7 1箇所	AW8 1箇所
形状				
場所	1階 屋内運動場	同左	1階 放課後児童クラブ教室	1階 放課後児童クラブ教室
形式	引き違い窓	同左	2連引き違い窓	2段2連引き違い窓
見込	70mm	同左	同左	70mm
材質・仕上	アルミ	同左	同左	同左
硝子	学校用透明強化ガラスt=4	同左	透明強化ガラスt=4	透明ガラスt=3
金物	クレセント、二重水切	同左	同左	クレセント、二重水切、可動網戸
備考	アングルピース	同左	同左	同左
記号・数量	AW9 1箇所	AW10 1箇所	AW11 2箇所	AW12 1箇所
形状				
場所	1階 放課後児童クラブ教室・湯沸室	1階 便所	1階 男子便所・器具庫	1階 シャワー室
形式	2段2連引き違い窓	2連引き違い窓	引き違い窓	同左
見込	70mm	同左	同左	同左
材質・仕上	アルミ	同左	同左	同左
硝子	透明ガラスt=3	透明強化ガラスt=4	同左	同左
金物	クレセント、二重水切、可動網戸	同左	クレセント、二重水切	同左
備考	アングルピース	同左	同左	同左

参考図